

シラバス（授業計画）

（ 第 2 部 ）

2 0 1 8



名古屋文化学園保育専門学校

目 次

【第2部1年生】

音楽	1
社会学	2
情報機器演習	3
一般英語	4
体育講義	5
体育実技	6
音楽（器楽）	7
音楽（声楽）	8
教職概論	9
教育原理	10
教育心理学	11
教育方法の研究	12
保育指導法総論	13
健康指導法	14
人間関係指導法	15
環境指導法	16
言葉指導法	17
表現（造形）指導法	18
教育実習Ⅰ	19
教育実習事前事後指導Ⅰ	20
発達心理学	21

【第2部2年生】

社会学	23
自然科学概論	24
日本国憲法	25
国語	26
図画工作	27
音楽Ⅱ（器楽）	28
音楽Ⅱ（声楽）	29
教育課程総論	30
表現（音楽）指導法	31
表現（造形）指導法Ⅱ	32

教育相談	33
教職実践演習	34
教育実習Ⅱ	35
教育実習事前事後指導Ⅱ	36
社会的養護	37
子どもの保健Ⅰ	38
子どもの保健Ⅱ	39
乳児保育	40
社会的養護内容	41
保育実習Ⅰ（施設）	42
保育実習指導Ⅰ（施設）	43

【第2部3年生】

音楽Ⅱ（器楽）	45
体育Ⅱ	46
表現（音楽）指導法Ⅱ	47
社会福祉	48
相談援助	49
児童家庭福祉	50
保育原理	51
保育原理Ⅱ	52
発達心理学Ⅱ	53
子どもの食と栄養	54
家庭支援論	55
乳児保育Ⅱ	56
障がい児保育	57
児童文化	58
保育相談支援	59
保育実習Ⅰ（保育所）	60
保育実習指導Ⅰ（保育所）	61
保育実習Ⅱ	62
保育実習指導Ⅱ	63
保育実践演習	64

保 育 科

第 2 部 1 年 生

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年		学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	2単位
科目名		音楽				担当教員	荻原 洋子			
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現に関する資質・能力を身に付ける。									
一般目標	・ 幼児音楽を理解して表現するために必要な音楽理論の基礎を身に付ける。 ・ 幼児音楽を理解して表現するために必要な読譜力を身に付ける。 ・ 幼児音楽を理解して表現するための基本的な演奏法の知識を身に付ける。									
到達目標	・ 基本的な音楽符号、記号、きまり等を理解している。 ・ 基本的な楽譜を読んだり書いたりすることができる。 ・ 伴奏付け等に必要な基本的な演奏法を理解している。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	音符と休符、五線と加線、音部記号、五線と鍵盤の位置関係の理解【練習問題(プリント①、②)】				事前学習	教科書(ステップ①、②)下読み			
						事後学習	学習したことの確認			
	②	音名、全音と半音、変化記号、異名同音、タイとスラー【練習問題(プリント③、④)】				事前学習	教科書(ステップ③、⑤)下読み			
						事後学習	プリント①、②の確認			
	③	縦線と小節、拍子の理解、弱起と強起【練習問題(プリント⑤、⑥)】				事前学習	教科書(ステップ④)下読み			
						事後学習	プリント③、④の確認			
	④	速度と強弱に関する記号と標語【練習問題(プリント⑦、⑧)】				事前学習	教科書(ステップ⑪)下読み			
						事後学習	プリント⑤、⑥の確認			
	⑤	これまでの復習とまとめ曲想に関する標語【理解度を確認する小テスト①】				事前学習	教科書(ステップ①～⑤、⑪)			
						事後学習	プリント⑦、⑧の確認			
	⑥	小テストの講評、奏法に関する標語と記号、省略記号【練習問題(プリント⑨、⑩)】				事前学習	教科書(ステップ⑪)下読み			
						事後学習	小テスト①の確認			
	⑦	装飾音と装飾記号、音階(長音階)【練習問題(プリント⑪、⑫)】				事前学習	教科書(ステップ⑥、⑪)下読み			
						事後学習	プリント⑨、⑩の確認			
	⑧	音階(長音階、短音階)【練習問題(プリント⑬、⑭)】				事前学習	教科書(ステップ⑥、⑨)下読み			
					事後学習	プリント⑪、⑫の確認				
⑨	音階と調まとめ【練習問題(プリント⑮、⑯)】				事前学習	教科書(ステップ⑥、⑨)下読み				
					事後学習	プリント⑬、⑭の確認				
⑩	これまでの復習とまとめ音程(全音階的音程)【理解度を確認する小テスト②】				事前学習	教科書(ステップ⑥、⑨、⑪)				
					事後学習	プリント⑮、⑯の確認				
⑪	小テストの講評、音程(半音階的音程)【練習問題(プリント⑰、⑱)】				事前学習	教科書(ステップ⑧)下読み				
					事後学習	小テスト②の確認				
⑫	音程まとめ、コードネームの基礎(英語の音名と基本形)【練習問題(プリント⑲、⑳)】				事前学習	教科書(ステップ⑧)下読み				
					事後学習	プリント⑰、⑱の確認				
⑬	コードネームの応用(転回形とセブンスコード)【練習問題(プリント㉑、㉒)】				事前学習	配付した資料の下読み				
					事後学習	プリント⑲、⑳の確認				
⑭	コードネームの復習とまとめ(連結と伴奏付け)これまでの学習の振り返り				事前学習	伴奏付けの練習				
					事後学習	プリント㉑、㉒の確認				
⑮	試験、講評				事前学習	これまでの学習のまとめ				
					事後学習	講評の内容の確認				
学習上の留意点	・ 授業で学習したことを実技レッスンに生かせるよう、標語、記号など見落とさないよう丁寧な譜読みを習慣にする。 ・ 毎時間行うプリントは次週に返却するので、間違いがあれば確認し、正しく理解すること。									
成績評価の方法	小テスト① 25%					教科書	「楽典の基礎 楽譜が読めるステップ12」 甲斐 彰 著 音楽之友社			
	小テスト② 25%						参考資料			
	定期試験 50%									

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	社会学				担当教員	富田 祐一	
全体目標	社会学への入門として社会学の理論・基本的な概念を学び、社会学的思考法を理解することを目指す。						
一般目標	社会学の基本的な理論や概念を学び、いくつかの具体的な事例を取り上げながら、社会を捉え直し、理解を深める。						
到達目標	社会学の基礎的なものの考えを学び、理解する。 身の回りで起こるさまざまな問題に対し、社会学的思考を通じて理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	社会学の基礎概念				事前学習 事後学習	p18～27「イントロダクション」を読む リアクションペーパーの提出
	②	集団論の世界				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	③	社会的行為と社会的ジレンマ				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	④	労働の社会学① 労働の意義				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑤	労働の社会学② 女性の労働と貧困問題				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑥	結婚の社会学① 結婚のかたち				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑦	結婚の社会学② 夫婦別姓問題				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑧	家族の形態と機能				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑨	少子化社会の現状と課題				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑩	ジェンダー① 基本的な考え方				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑪	ジェンダー② ジェンダーフリー				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑫	メディアリテラシー				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑬	エイジングと高齢化社会① 老年人口割合の推移と展望				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑭	エイジングと高齢化社会② 高齢化と福祉社会				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑮	筆記試験・まとめ				事前学習 事後学習	配布プリント、教科書を見直す これまでの学習を振り返る
	学習上の留意点	1 筆記用具を持参し自分の講義ノートをつくること。 2 配布資料は必ず読むこと。 3 関連するニュースや新聞、書籍に関心をもって目を通すこと。 4 授業は主体的、能動的な態度で臨むこと。					
成績評価の方法	① 定期試験 80% ② レポート・受講態度 20%				教科書	社会学がわかる事典 森下伸也 日本実業出版社	
					参考資料	授業にて配布する。	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名		情報機器演習				担当教員	葛谷 潔昭			
全体目標	情報技術 (ICT) を活用できる、豊かな人間性と倫理観を持った保育者、教育者をを目指す。									
一般目標	情報倫理も含めて情報リテラシーを学ぶ。 情報機器の理解を深め、機器の利用方法を学ぶ									
到達目標	情報倫理と情報社会の課題と効用を理解し、情報リテラシーを身につけ、指導できる能力を獲得する。 文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを中心に操作方法を学び、自ら活用できるようになる。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	受講ガイダンス 情報機器、アプリケーションの説明 Windowsの基本操作と日本語入力				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	授業の資料・教科書の復習			
	②	文書作成(1) 基本操作と印刷 文書作成(2) 表の作成				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	授業の資料・教科書の復習			
	③	文書作成(3) 書式の設定 文書作成(4) 図・画像などの挿入				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	授業の資料・教科書の復習			
	④	文書作成(5) アウトラインの設定 文書作成(6) 図の作成と編集				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	保護者向け文書の作成			
	⑤	文書作成(7) 縦書き、PDF変換、パスワード保護 表計算(1) 基本操作と印刷				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	授業の資料・教科書の復習			
	⑥	表計算(2) 表の作成と基本編集 表計算(3) 表の書式設定と印刷(園児名簿の作成)				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	園児名簿の完成			
	⑦	表計算(4) 数式(1) 基本関数 表計算(5) 数式(2) 順位取得、データの並べ替え				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	授業の資料・教科書の復習			
	⑧	表計算(6) 数式(3) セルの書式設定、端数処理 表計算(7) グラフと図形				事前学習	教科書の該当部分の通し読み			
						事後学習	授業の資料・教科書の復習			
⑨	表計算(8) データベース機能と差し込み印刷 プレゼンテーション(1) 基本操作と印刷				事前学習	教科書の該当部分の通し読み				
					事後学習	授業の資料・教科書の復習				
⑩	プレゼンテーション(2) 図やオブジェクトの挿入と作成、編集 プレゼンテーション(3) 特殊効果と自動実行				事前学習	教科書の該当部分の通し読み				
					事後学習	自己紹介の完成				
⑪	総合(1) ソフトウェア間のデータ連係 総合(2) SmartArt、グラフ、表の挿入				事前学習	教科書の該当部分の通し読み				
					事後学習	授業の資料・教科書の復習				
⑫	総合(3) 園だよりの作成 情報と社会(1) 電子メール・SNSによるコミュニケーション				事前学習	資料の該当部分の通し読み				
					事後学習	園だよりの完成				
⑬	情報と社会(2) 情報倫理・情報モラル・個人情報保護 情報と社会(3) 著作権等の知的財産権				事前学習	資料の該当部分の通し読み				
					事後学習	授業の資料・教科書の復習				
⑭	情報と社会(4) ネット犯罪とネットトラブルとその防止 総合(3) 情報リテラシーと業務効率化				事前学習	資料の該当部分の通し読み				
					事後学習	授業の資料・教科書の復習				
⑮	まとめ 最終試験(用語の理解と作品作成)				事前学習	資料の該当部分の通し読み				
					事後学習	授業の資料・教科書の復習				
学習上の留意点	授業で知識と経験を獲得し、毎回積み上げて、進めていくので、欠席をしないこと。 作品提出を求める課題が毎回あるので、欠席しないこと。 WindowsやOfficeアプリケーションなどの操作に自信がない場合は、あらかじめ教科書などの予習を行い、日ごろから自宅などで操作を行って、予め慣れておくこと。									
成績評価の方法	受講態度、出席状況…40% 課題の提出状況、出来栄…30% 最終試験…30%					教科書	保育者のためのパソコン講座 —Windows 7 Office2007/2010/2013対応版 萌文書林			
	上記の通り評価する。					参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	一般英語				担当教員	小野 克志	
全体目標	英語による子どもや保護者とのコミュニケーションを積極的に行えるようになり、子どもと英語活動を楽しむこと、異文化を理解し学ぶことの大切さについて考える。						
一般目標	英語表現を理解し、英語の知識、技術の獲得のみならず、英語の歌や絵本など英語活動の実際に触れ、子どもとともに英語活動を楽しめるようになる。						
到達目標	保育現場で使える英語の語彙、表現を増やし、英語を積極的に保育活動の中に取り入れることができるようになることが目標。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	① オリエンテーション					事前学習	テキストの事前確認
						事後学習	「授業のながれ」の全体把握
	② Lesson 1 & Lesson 2					事前学習	当該レッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
	③ Lesson 3 & Lesson 4					事前学習	当該のレッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
	④ 復習 (Lesson 1 ～ Lesson 4)					事前学習	学習範囲に見直し
						事後学習	学習範囲の見直し
	⑤ Lesson 5 & Lesson 6					事前学習	当該のレッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
	⑥ Lesson 7 & Lesson 8					事前学習	当該のレッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
	⑦ 復習 (Lesson 5 ～ Lesson 8)					事前学習	学習範囲に見直し
						事後学習	学習範囲の見直し
	学習上の留意点	⑧ Lesson 9 & Lesson 10					事前学習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
⑨ Lesson 11 & Lesson 12						事前学習	当該のレッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
⑩ 復習 (Lesson 9 ～ Lesson 12)						事前学習	学習範囲に見直し
						事後学習	学習範囲の見直し
⑪ Lesson 13 & Lesson 14						事前学習	当該のレッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
⑫ Lesson 15 & Lesson 16						事前学習	当該のレッスンの予習
						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
成績評価の方法	⑬ 復習 (Lesson 13 ～ Lesson 16)					事前学習	学習範囲に見直し
						事後学習	学習範囲の見直し
	⑭ プレゼンテーション					事前学習	当該のレッスンの予習
成績評価の方法						事後学習	学習範囲の見直し、小テスト準備
	⑮ 前期定期試験、講評					事前学習	学習範囲の総復習
						事後学習	講評の内容把握
成績評価の方法	定期試験 30%、小テスト 30%、発表 10%、受講態度 30%				教科書	『保育英語の練習帳: 単語&フレーズを覚えよう』 宮田学編・高橋妙子著 萌文書林	
					参考資料	授業内で指示します。	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	体育講義				担当教員	山内 隆治	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	柔軟性を養うと共に、自らの体力の向上を図る。						
到達目標	正しいストレッチ体操を習得して、留意点に注意して行う。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	オリエンテーション (今後の授業の進め方)				事前学習	シラバスの下読み
						事後学習	授業内容の把握
	②	バレーボール (オーバーパス理論と練習)				事前学習	バレーボールのルール確認
						事後学習	オーバーパスの習得
	③	バレーボール (アンダーパス理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認
						事後学習	アンダーパスの習得
	④	バレーボール (サーブ理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認
						事後学習	サーブの習得
	⑤	バレーボール (サーブレシーブ理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認
						事後学習	サーブレシーブの習得
	⑥	バレーボール (対人パス理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認
						事後学習	対人パスの習得
	⑦	バレーボール (サークルパス理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認
						事後学習	サークルパスの習得
	⑧	バレーボール (ゲーム)				事前学習	ストレッチ体操内容確認
						事後学習	ゲーム内容の確認
⑨	マット運動 (前転系理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	開脚前転の習得	
⑩	マット運動 (後転、倒立理論と練習)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	後転の習得	
⑪	マット運動 (実技試験)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	マット運動の習得	
⑫	体力テスト (反復横跳び・立ち幅跳び)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	各個人の体力年齢の把握	
⑬	ニュースポーツ (キャッチザスティック)				事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	ニュースポーツの種目確認	
⑭	講義 (ストレッチ図解)				事前学習	ストレッチ体操留意点の把握	
					事後学習	ストレッチ体操の図解確認	
⑮	定期試験まとめ				事前学習	試験範囲の確認	
					事後学習	評価内容の把握	
学習上の留意点	・運動の出来る服装で出席すること。 ・体育館シューズを用意すること。 ・装飾品は、はずして出席すること。						
成績評価の方法	・実技 (50点) ・定期試験 (50点) ・平常点(授業態度、授業参加状況)				教科書		
					参考資料	・プリント教材(ストレッチ体操留意点及び名称)	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実技	単位数	1単位
科目名	体育実技				担当教員	山内 隆治	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	幼児体育における知識、及び器械体操の補助法を学ぶ。						
到達目標	幼児体育種目を体験することにより、現場で対応できる知識を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	パルーン、組体操 (1人体操・2人組)				事前学習	パルーンの動き確認
						事後学習	組体操種目の習得
	②	組体操 (3人組・6人組・全体)				事前学習	組体操種目確認
						事後学習	組体操種目の習得
	③	集団ゲーム (ジャンケンゲーム・鬼ごっこ)				事前学習	集団ゲームの内容確認
						事後学習	ゲーム種目の習得
	④	ドッジボール (ノーマルドッジ)				事前学習	ドッジボールのルール確認
						事後学習	ドッジボールの動き取得
	⑤	ドッジボール (王様ドッジ)				事前学習	王様ドッジのルール確認
						事後学習	王様ドッジの動き取得
	⑥	ドッジビー (スローイング・ゲーム)				事前学習	ドッジビーのルール確認
						事後学習	スローイングの習得
	⑦	縄跳び (大縄)				事前学習	大縄種目の確認
						事後学習	縄に入るタイミングの習得
	学習上の留意点	⑧	縄跳び (短縄)				事前学習
						事後学習	短縄種目の習得
⑨		器械体操補助法 (マット・鉄棒)				事前学習	マット・鉄棒の補助法確認
						事後学習	マット・鉄棒の補助法把握
⑩		器械体操補助法 (実技テスト)				事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認
						事後学習	マット・鉄棒の補助法習得
⑪		ポートボール (ランニングパス)				事前学習	ポートボールのフォーメーション確認
						事後学習	パスからシュートまでの習得
⑫		ポートボール (ゲーム)				事前学習	ポートボールのルール確認
						事後学習	ゲーム内容の確認
成績評価の方法	⑬	講義 (幼児体育カリキュラム・器械体操の段階指導)				事前学習	器械体操の段階指導法確認
						事後学習	カリキュラム内容の把握
	⑭	講義 (リーグ戦・トーナメント表作成)				事前学習	リーグ戦・トーナメント表作成方法確認
						事後学習	学校体育の領域確認
教科書	⑮	定期試験まとめ				事前学習	試験範囲の確認
						事後学習	評価内容の把握
参考資料	・実技 (50点) ・定期試験 (50点) ・平常点(授業態度、授業参加状況)				プリント教材(器械体操の段階指導法)		
					プリント教材(幼児体育カリキュラム)		
					プリント教材(リーグ戦表・トーナメント表の作成方法)		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	通年	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	音楽(器楽)				担当教員	仙石 美千代・桐生 敬子	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項について、鍵盤楽器の演習をととして、知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	鍵盤楽器の基本的な奏法を習得し、幼児の発達や幼児音楽を理解して演奏する。						
到達目標	1. プリント教材、バイエル等で鍵盤楽器の演奏技術を身につけ、向上させる。 2. 幼児の歩く速さを理解し、行進曲の演奏法を習得する。 3. 教育実習に向けて幼児の一日の生活の流れを知り、「生活のうた」の伴奏法を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	習熟度別指導:楽器の取り扱い方・カリキュラム説明				事前／事後 器楽学習歴調査／内容の把握	
	②	個人指導(プリントⅠ・Ⅱ, バイエル58,80など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	③	個人指導(プリントⅢ, バイエル52,82など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	④	個人指導(プリント1～3, バイエル66,88など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑤	個人指導(プリント4～6, バイエル68,90など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑥	個人指導(プリント7～9, バイエル69,81など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑦	個人指導(プリント10～12, バイエル70,91など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑧	個人指導(プリント13～15, バイエル71,96など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑨	個人指導(バイエル48,67,100など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑩	個人指導(バイエル49,76,102など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑪	個人指導(バイエル55,78,104など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑫	試験曲の説明・範奏				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑬	試験曲の個人レッスン				事前／事後 曲の譜読み・練習／試験曲の把握	
	⑭	試験曲の個人レッスン				事前／事後 試験曲の練習／指摘箇所の確認	
	⑮	前期定期試験・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握	
	⑯	行進曲の説明・試奏				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑰	個人指導および合同練習(行進曲C1・2など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑱	個人指導および合同練習(行進曲C3・B1など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑲	個人指導および合同練習(行進曲B2など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑳	個人指導および合同練習(行進曲A1など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉑	個人指導および合同練習(行進曲A2など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／試験曲の把握	
	㉒	試験曲の個人レッスン・リハーサル				事前／事後 試験曲の練習／指摘箇所の確認	
	㉓	中間試験(行進曲)・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握	
	㉔	実習曲(生活のうた)の説明・範奏				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉕	個人指導(生活のうた「簡易伴奏」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉖	個人指導(生活のうた「おはよう」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉗	個人指導(生活のうた「おべんとう」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉘	個人指導(生活のうた「おかえり」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／試験曲の把握	
	㉙	試験曲の個人レッスン・リハーサル				事前／事後 試験曲の練習／指摘箇所の確認	
	㉚	後期定期試験・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握	
学習上の留意点	・家での練習の他、学校でも授業前後の少しの時間を大切に、できるだけ毎日練習すること。 ・手の形、姿勢に気をつけて練習すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 ・教員の助言したポイントに気をつけて練習をすること。						
成績評価の方法	前期定期試験 40% 後期中間試験 30% 後期定期試験 20% ※平常10%(レッスンの合格曲の難易度と曲数 授業参加状況や受講態度など)を勘案する。 ※評価が、前期＞後期であれば平均値、 前期＜後期であれば、後期の値をとる。				教科書	前期:バイエルピアノ教則本、プリント教材 後期:ピアノマーチ集 全音楽譜出版社 幼児のうたとあそび プリント教材	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	音楽(声楽)				担当教員	都築 美和子	
全体目標	幼児にとって聴きやすい大きい声で歌えるように声のトレーニングをする。						
一般目標	基礎的な読譜力、歌唱力を習得する。						
到達目標	人の前で堂々と表情豊かに歌えるように努力する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	幼児音楽の重要性、授業計画説明				事前／事後	入学前の音楽歴調査／内容把握
	②	発声練習(毎時間)『うたとあそび』生活のうた「おはよう」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	③	生活のうた、4月のうた「おかえりのうた」「せんせいとおともだち」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	④	生活のうた、4月のうた「おべんとう」「おはながわらった」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	⑤	生活のうた、あそびのうた「ハッピーバースデー」「足ふみタンタン」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	⑥	あそびのうた、5月のうた「あくしゅでこんにちは」「こいのぼり」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	⑦	あそびのうた、5月のうた「むすんでひらいて」「パスごっこ」など				事前／事後	譜読み・復習／習得確認
	⑧	復習、独唱経験				事前／事後	譜読み・復習／習得の確認
	⑨	6月のうた「あめふりくまのこ」など				事前／事後	譜読み・練習／習得の確認
	⑩	6月のうた、7月のうた「かたつむり」「しゃぼんだま」など				事前／事後	譜読み・練習／習得の確認
	⑪	7月のうた、8月のうた「ありさんのおはなし」「うみ」など				事前／事後	譜読み・復習／習得確認
	⑫	前期のうた復習、独唱				事前／事後	譜読み・復習／習得確認
	⑬	実技試験曲説明、譜読み				事前／事後	試験曲譜読み／試験曲の把握
	⑭	実技試験曲、練習				事前／事後	試験曲練習／指摘箇所の確認
	⑮	実技試験、講評				事前／事後	試験曲練習／講評内容把握
	⑯	後期授業計画説明・発声トレーニング				事前／事後	声のトレーニング／習得確認
	⑰	9月のうた「秋」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	⑱	9月のうた「こおろぎ」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	⑲	9月のうた復習・独唱				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	⑳	10月のうた「うんどうかい」など				事前／事後	譜読み・復習／習得確認
	㉑	10月のうた復習・独唱				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉒	11月のうた「こぎつね」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉓	11月のうた、実習のためのうた「もみじ」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉔	実習のための生活のうた、園の課題曲練習				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉕	12月のうた、リズム楽器演奏「赤鼻のトナカイ」など				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉖	メロディベルを楽しむ(クリスマスソング)				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉗	後期のうた復習・独唱				事前／事後	譜読み・復習／習得確認
	㉘	実技試験曲説明、譜読み				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉙	実技試験曲練習				事前／事後	譜読み・練習／習得確認
	㉚	実技試験・講評				事前／事後	試験曲練習／講評内容把握
学習上の留意点	授業中の譜読みに慣れ、早く暗譜する。 曲の内容を理解し、表情豊かに歌えるようになる。						
成績評価の方法	実技試験 80％ 授業中の参加状況、受講態度 20％				教科書	『幼児のうたとあそび』	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		教職概論			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	教職(教師)という仕事、保育者という仕事を多角的に理解する。							
一般目標	教師・保育者の意義と役割、仕事内容と専門性を理解するとともに、現代の教育状況についても理解する。							
到達目標	1. 教師・保育者の意義と役割を理解する。 2. 教師・保育者としての仕事内容を理解し、求められる専門性(資質・能力)を理解する。 3. 現代の教育状況を理解し、必要な態度を身につける。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション			事前学習	本授業に期待することを考えてくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	②	教師・保育者の意義と役割			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	③	教師・保育者の仕事内容			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	④	教師・保育者の専門性(1) 求められる資質と能力			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑤	教師・保育者の専門性(2) 資格との関係から			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑥	教師・保育者の専門性(3) シラバスづくり			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑦	教師・保育者の専門性(4) 教育技術と反省的実践家・チーム学校			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑧	教師・保育者の現状(1) 教員免許状更新講習			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨	教師・保育者の現状(2) 教師・保育者の現状と課題			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑩	教育の現状(1) 教育とカリキュラム			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑪	教育の現状(2) 教育と評価			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑫	教育の現状(3) 教育とアクティブラーニング			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑬	課題の発表			事前学習	発表の準備をしてくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑭	教職概論のまとめ			事前学習	事前配布プリントを読んでもくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑮	試験・講評			事前学習	試験対策をやってくる			
				事後学習	試験の振り返りをする			
学習上の留意点	・「授業のながれ」の順番は変更することがある。 ・本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。							
成績評価の方法	・試験 50% ・平常点 50%				教科書			
					参考資料	前田康裕『まんがで知る教師の学び—これからの学校教育を担うために』さくら社、2016年 高橋貴志『これからの保育者論—日々の実践に宿る専門性』明文書林、2017年 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		教育原理			担当教員	須田 昂宏		
全体目標	子どもが育つ上での教育の意味を理解するとともに、保育者として自らが果たすべき役割を考え、保育者となることへの意識を高める。							
一般目標	教育の意義と目的、思想と歴史的変遷、制度、実践等を理解する。							
到達目標	1. 教育の意義、教育の目的を理解する。 2. 教育思想と歴史的変遷について学び、教育の基礎的理念と理論について理解する。 3. 日本と諸外国の教育制度および教育実践についての知識を得る。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	オリエンテーション			事前学習	本授業に期待することを考えてくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	②	教育の意義と目的(1) 教育という漢字の成り立ち			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	③	教育の意義と目的(2) セイバートゥースのカリキュラム			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	④	教育の意義と目的(3) よい教師とは			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑤	教育の思想と歴史的変遷(1) 諸外国			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑥	教育の思想と歴史的変遷(2) 日本			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑦	教育の思想と歴史的変遷(3) 子ども観と教育観			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
	⑧	教育の制度(1) 教育制度の基礎			事前学習	事前配布プリントを読んでくる		
					事後学習	リアクションペーパーを書いてくる		
⑨	教育の制度(2) 学校と地域の連携・学校安全			事前学習	事前配布プリントを読んでくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑩	教育の実践(1) よい教育実践とは			事前学習	事前配布プリントを読んでくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑪	教育の実践(2) 教育課程・教育方法・教育評価			事前学習	事前配布プリントを読んでくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑫	教育の実践(3) 学びの分析			事前学習	事前配布プリントを読んでくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑬	課題の発表			事前学習	発表の準備をしてくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑭	教育原理のまとめ			事前学習	事前配布プリントを読んでくる			
				事後学習	リアクションペーパーを書いてくる			
⑮	試験・講評			事前学習	試験対策をやってくる			
				事後学習	試験の振り返りをする			
学習上の留意点	・「授業のながれ」の順番は変更することがある。 ・本授業は講義であるが、「聴く」活動のみならず、「書く」、「話し合う」、「発表する」などの活動を非常に多く含む。成績評価が平常点重視なことからもわかるように、特に授業中は能動的・積極的な参加が求められる。							
成績評価の方法	・試験 50% ・平常点 50%				教科書			
					参考資料	汐見稔幸・伊東毅・高田文子・東宏行・増田修治『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房、2011年 安彦忠彦・児島邦宏・藤井千春・田中博之『よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房、2012年 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	2単位
科目名		教育心理学				担当教員	菅田 達也		
全体目標	子どもたちの学習について焦点をあて、他者がどのように支えていけばいいのかについて考えることを目的とする。また、子どもへの理解を深めるため、生涯発達の視点の重要性を理解し、子どもが人との関わりや学びを通して発達することを学ぶ。教育心理学で取り上げられている「学び」について知識を得ることで、子どもの発達や学習に関する理解を深め、保育(教育)実践に対する基本的態度を養うことをねらいとする。								
一般目標	(1)対象となる幼児の心身の発達過程及びその特徴を理解する。 (2)幼児、児童の学習に関する基礎的知識を理解する。 (3)発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。								
到達目標	①発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 ②学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ③動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ④発達に応じた、学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① オリエンテーション					事前学習	シラバスを読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	② 保育と教育心理学					事前学習	前回の資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	③ 発達と教育					事前学習	前回までの資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	④ 行動の理解—生得的行動と習得的行動—					事前学習	前回までの資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	⑤ 学習のタイプ					事前学習	前回までの資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	⑥ レスポンデント条件づけ					事前学習	前回までの資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	⑦ オペラント条件づけ					事前学習	前回までの資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
	⑧ 強化と消去					事前学習	前回までの資料を読む		
						事後学習	授業ノートの復習		
⑨ 強化の理論 / 中間の振り返り					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	授業ノートの復習			
⑩ 社会的学習					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	授業ノートの復習			
⑪ ペアレント・トレーニング					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	授業ノートの復習			
⑫ やる気を育てる(動機づけとは)					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	授業ノートの復習			
⑬ 個人差の理解(適応・不適応とは)					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	授業ノートの復習			
⑭ 特別支援教育について					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	授業ノートの復習			
⑮ 学びの振り返り・まとめ・試験(定期試験)					事前学習	前回までの資料を読む			
					事後学習	学びの振り返りをする			
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについてもノートに記述することを心がけること。								
成績評価の方法	定期試験	80%			教科書	「教育心理学—保育者をめざす人へ—」 石井正子・松尾直博(編) 樹村房			
	平常点 (受講態度・授業参加状況)	30%			参考資料	配布プリント 「幼稚園教育要領」 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		教育方法の研究				担当教員	松葉 百香	
全体目標	保育を展開するための方法と技術を学ぶ 教材や情報機器を活用して、具体的な保育方法について学ぶ 子どもに適した児童文化財を選び実践する							
一般目標	情報機器等を活用しながら練習を重ねることで、保育技術を高める 「子どもの遊び」に対する理解を深め、適切な保育方法を学ぶ 実際に計画し、実践をする中で工夫したり改善したりする							
到達目標	保育を展開するための基本的なことを身につける 子どもを理解し、子どもたちに合った保育内容を計画して実践することができる 保育者として様々な保育方法を身につけて実践力を培う							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	幼稚園・保育園・認定こども園とは DVD「保育者と幼稚園の一日」 歌遊び				事前学習	幼児期の園での活動を思い出しておく	
						事後学習	習った遊び歌の復習をする。	
	②	様々な保育方法を学ぶ 絵本の選び方・種類・読み方				事前学習	子どもたちに読みたい絵本を選んでくる	
						事後学習	子どもたちに読むように声に出して絵本を読む	
	③	教材研究 (1) 手遊び ねらい・発展方法・遊び方のポイント等				事前学習	P.79～81の「手遊び」の所を読んでおく	
						事後学習	習った手遊びを復習してできるようにしておく	
	④	教材研究 (2) ペープサート 教材作り				事前学習	P.101～103「ペープサート」の所を読んでおく	
						事後学習	ペープサートで発表できるように練習する	
	⑤	ペープサート発表 教材研究 (3) パネルシアター DVD「はじめの一步」				事前学習	P.117～119パネルシアターの所を読んでおく	
						事後学習	パネルシアターをグループごとに練習しておく	
	⑥	子ども理解 (1) 折り紙 記録の作成 (1) 活動ポイント記入用紙への記入				事前学習	P.167～188を読み、折りたい折り紙を考える	
						事後学習	「活動ポイント用紙」を記入する。	
	⑦	子ども理解 (2) 集団遊び・リズム遊び・伝承遊び 記録の作成 (2) 「子どもの活動」				事前学習	自分が遊んだ遊びの内容等を発表する	
						事後学習	「子どもの活動」についての記録を完成させる	
	⑧	記録の作成 (3) 一日の流れ グループワーク 「子どもの活動」				事前学習	「一日の流れ」には何があるのか調べておく	
						事後学習	「実習記録」に子どもの活動を記入する	
⑨	記録の作成 (3) 教師の援助・配慮 グループワーク 「教師の援助・配慮」から教師の意図に気づく				事前学習	「教師の援助・配慮」の「いいな」を見つける		
					事後学習	一日の流れから「教師の援助・配慮」を記入		
⑩	記録の作成 (5) 環境構成 園行事について・七夕飾り作り				事前学習	5領域「環境」を中心に幼稚園教育要領を読む		
					事後学習	一日の流れから「教師の援助・配慮」を記入		
⑪	記録の作成 (4) 「幼稚園教育要領」から考える 「三つの柱」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」				事前学習	「幼稚園教育要領」をP.5～7を読んでくる		
					事後学習	具体的な遊びの中から10の姿をとらえる		
⑫	子どもの遊び (1) 遊びこむとは 遊びから育つもの DVD「主体的な遊びで育つ子ども」 グループワーク				事前学習	幼児期に夢中になった遊びが発表できる		
					事後学習	子どもの遊ぶ姿の観察記録を記入する		
⑬	子どもの遊び (2) 導入→発展→まとめ				事前学習	30分程度の遊びを「活動記入用紙」に記入		
					事後学習	「導入→展開→まとめ」の流れで記録を記入		
⑭	保育方法の発表と振り返り PDCAサイクル				事前学習	自分の記入した記録をしっかり把握しておく		
					事後学習	取り組みを振り返り次の計画・実践につなげる		
⑮	試験とまとめ				事前学習	様々な保育方法や評価方法を理解する		
					事後学習	自信をもって実践できるように、練習をする		
学習上の留意点	・積極的に授業に参加すること。 ・日頃から子どもや幼児教育に関心を持ち、保育者を目指すものとして自覚をもって学ぶこと。 ・「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園」・「保育要領」や「保育所保育指針」をよく見て学ぶこと。 ・提出物は、丁寧に記述し、必ず見直したうえで期限内に提出すること。							
成績評価の方法	定期試験50% 課題10% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等) 発表10% 以上を総合的に評価する					教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育実技」久富陽子編 萌文出版 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」 「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」	
						参考資料	『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名	保育指導法総論				担当教員	榊原 菜々枝			
全体目標	園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、環境を構成し実践するために必要な知識を身に付ける。特に、具体的な幼児の姿と関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているかについて学び、5領域のねらい及び内容とのつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。								
一般目標	・保育における指導と援助の考え方を理解している。 ・指導計画の考え方を理解し、発達の過程を見通した指導計画作成を理解する。 ・保育記録を書くことを通して、子どもを理解する力を付ける。								
到達目標	・長期の指導計画と短期の指導計画との関係について説明できる。 ・幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション 保育とは				事前学習	幼少期の園生活を思い出してみる		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	②	子どもを取り巻く社会環境の変化と保育内容				事前学習	社会環境の変化と子どもへの影響を考える		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	③	子どもの遊びを分析する 保育記録のとり方について学ぶ				事前学習	配布プリントを下読みする		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	④	保育所・認定こども園の役割と保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	⑤	幼稚園の役割と保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	⑥	保育内容を展開するプロセス				事前学習	教科書の該当箇所を読む		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	⑦	5領域のねらい及び内容について				事前学習	教科書の該当箇所を読む		
						事後学習	振り返りシートにまとめる		
	⑧	環境を通した保育実践の記録を読み解く				事前学習	教科書の該当箇所を読む		
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑨	わが国における保育内容の変遷				事前学習	教科書の該当箇所を読む			
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑩	諸外国の保育所・幼稚園の保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む			
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑪	これからの保育内容の課題				事前学習	教科書の該当箇所を読む			
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑫	保幼小連携を創造する保育内容				事前学習	教科書の該当箇所を読む			
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑬	異年齢児の保育内容とその展開				事前学習	教科書の該当箇所を読む			
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑭	保護者支援				事前学習	教科書の該当箇所を読む			
					事後学習	振り返りシートにまとめる			
⑮	試験と講評				事前学習	15回の講義内容をまとめる			
					事後学習	15回の講義内容を振り返る			
学習上の留意点	意欲的に授業に臨んでください。 日頃から、保育や子どもに関わるニュースに関心を持つように心がけてみてください。								
成績評価の方法	授業への参加(グループ討議・提出物等) 40%				教科書	『実践を創造する保育内容総論』 (株)みらい 豊田和子			
	試験 60%				参考資料	『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』			

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	健康指導法				担当教員	鈴木 将也	
全体目標	子どもの発達段階を踏まえ、幼児自らが意欲的に取り組むことができる運動指導や健康・安全指導における保育者の役割について理解を深め、適切な指導法を身につける。						
一般目標	乳幼児期は生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期であることを学ぶ。						
到達目標	1. 幼児を取り巻く健康に関する状況を理解する。 2. 乳幼児の心身発達について理解する。 3. 領域「健康」における保育者の役割について考える。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 健康および領域「健康」とは				事前学習	健康とは何か考えてみる	
					事後学習	保育者としての認識を確認する	
	② 健康と関連する乳幼児の生活の実態				事前学習	乳幼児の生活について調べてみる	
					事後学習	乳幼児の生活の実態から考察する	
	③ 子どもの生活と健康				事前学習	子どもの生活と健康の関連を考えてみる	
					事後学習	子どもの生活と健康の関連をまとめる	
	④ 乳幼児の身体の発育・発達				事前学習	身体の発育・発達について教科書で確認する	
					事後学習	身体の発育・発達による変化をまとめる	
	⑤ 乳幼児の運動機能の発達				事前学習	運動機能の発達について教科書で確認する	
					事後学習	運動機能の発達をふまえた保育を考える	
	⑥ 乳幼児の認知・情緒の発達				事前学習	認知・情緒の発達について教科書で確認する	
					事後学習	認知・情緒の発達をふまえた保育を考える	
	⑦ 乳幼児の言葉・社会性の発達				事前学習	言葉・社会性について教科書で確認する	
					事後学習	言葉・社会性を育む保育を考える	
	学習上の留意点	⑧ 運動遊びの意義				事前学習	運動遊びについて調べてみる
					事後学習	運動遊びの意義をまとめる	
⑨ 運動遊びと保育者の援助					事前学習	運動遊びの意義を再確認する	
					事後学習	保育者の援助方法について考える	
⑩ 園行事と健康					事前学習	園行事には何があるか確認し列挙しておく	
					事後学習	園行事と健康の関連について考える	
⑪ 基本的生活習慣					事前学習	自分自身の生活習慣を確認する	
					事後学習	生活習慣の重要性を確認する	
⑫ 健康な生活リズムとは					事前学習	健康な生活リズムとは何か調べる	
					事後学習	健康な生活リズムを身につける方法について考えてみる	
成績評価の方法	⑬ 園での安全管理				事前学習	園での安全管理に必要な知識はなにか考える	
					事後学習	園での安全管理の方法をまとめる	
	⑭ 園での健康管理				事前学習	子どもに多い病気は何があるか調べる	
					事後学習	健康管理の方法を調べまとめる	
	⑮ 試験、まとめ				事前学習	これまでの学びをまとめる	
				事後学習	学びの応用のついて考えてみる		
成績評価の方法	・ 定期試験 80% ・ 提出物 10% ・ 受講態度 10%				教科書	「保育実践を支える 健康〔改訂版〕（仮）」 福村出版	
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	1単位
科目名		人間関係指導法				担当教員	加藤 久美子			
全体目標	教育要領、保育指針、教育・保育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の姿と保育実践を関連させて理解を深める。その上で、乳幼児の発達にふさわしい保育を学び、具体的な実践の方法を身に付ける。									
一般目標	1. 領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 2. 乳幼児の自立心を育て、人と関わる力を養うために必要な指導上の留意点を理解している。 3. 発達理解を深め、必要な援助と留意点を理解している。									
到達目標	保育内容「人間関係」を広い視野から学ぶことにより、現代的課題や保育実践の動向を知り、保育の改善、内容の向上に取り組むことができる。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	保育内容「人間関係」 教育要領、保育指針、教育保育要領から学ぶ。				事前学習	要領、指針、教育保育要領を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	②	保育の基本と「人間関係」 人間の生涯発達の中での「人間関係」の位置				事前学習	教科書p3～p14を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	③	乳幼児の発達と「人間関係」 「人とのかかわる力」の発達過程				事前学習	教科書p15～p30を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	④	保育のなかの「人間関係」 大人の関係を通して乳幼児の人間関係力を考える。				事前学習	教科書p31～p42を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	⑤	0歳児の保育実践から「人とのかかわる力」の育ち 安定感をもち人と関わる心地よさを知らせるための丁寧な関わり				事前学習	教科書p131～p135を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	⑥	1歳児の保育実践から「人とのかかわる力」の育ち 自我の育ち、育つ気持ちに向き合い、丁寧な関わり				事前学習	教科書p135～p138を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	⑦	2歳児の保育実践から「人とのかかわる力」の育ち 自分のおもいを守りつつ、友だちを求める。援助				事前学習	教科書p138～p142を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
	⑧	3歳児クラスの子どもたちの「人とのかかわる力」と保育 友だちの中で自己の誇りと自信の育み。環境と援助				事前学習	教科書p143～p147を読んでおく			
						事後学習	講義で学んだポイントを確認する			
⑨	4歳児クラスの子どもたちの「人とのかかわる力」と保育 友だちとの関係を積極的に求め、心地よく遊べる為のルールを自分たちでつくる。				事前学習	教科書p147～p151を読んでおく				
					事後学習	講義で学んだポイントを確認する				
⑩	5歳児クラスの子どもたちの「人とのかかわる力」と保育 友だちとのかかわりを深め、協同、協力することができるようになる。				事前学習	教科書p151～p156を読んでおく				
					事後学習	講義で学んだポイントを確認する				
⑪	保育における集団と個の関係 個と集団がつながる環境構成と援助				事前学習	教科書p157～p167を読んでおく				
					事後学習	講義で学んだポイントを確認する				
⑫	行事のねらいと活動内容 協同、協力の意味と方法				事前学習	事前配布の実践を読みポイント整理				
					事後学習	考察検討で学んだことの整理				
⑬	大人の関係と子どもの育ち 子どもの育ちを、ありのままの姿で伝え合う				事前学習	教科書P197～p207を読んでおく				
					事後学習	講義で学んだポイントを確認する				
⑭	地域における世代間交流と子どもの育ち 乳幼児期に経験させたい地域の人との関わり				事前学習	自分の身近における地域交流をまとめる				
					事後学習	講義で学んだポイントを確認する				
⑮	試験・まとめ				事前学習	試験に向けての学習				
					事後学習	後期の復習				
学習上の留意点	・実習だけではなく、進んで子どもたちと触れあう機会を設け、その姿を通して学んだことの確認をするように努める。 ・日頃より身近な大人の関係、地域との関係を通して、人と関わる力と子どもの育ちを考えられるようにする。 ・教科書だけではなく意欲的に保育実践に関連する文献、実践事例を読むことに努める。									
成績評価の方法	定期試験	70%				教科書	同文書院『保育内容・人間関係』			
	発表	20%								
	レポート	10%				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年	2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習・実習	単位数	1単位
科目名	環境指導法				担当教員	富田 祐一・榊原 菜々枝		
全体目標	現代の幼児を取り巻く環境や幼児と環境との関わりについての専門的事項をふまえ、領域「環境」のねらい及び内容について理解を深める。幼児の発達に即して深い学びが実現する過程をふまえ、領域「環境」に関わる具体的な保育の構想、指導方法について学び、身に付ける。							
一般目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領に示された幼稚園教育の基本や、保育所保育の基本原則等をふまえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。							
到達目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な保育を構想する方法を身に付ける。							
	[1]領域「環境」のねらい及び内容を理解している。							
	[2]幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。							
	[3]指導案の構造を理解し、領域「環境」に関するエピソード記録の作成をすることができる。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	① 子どもにとって環境とは何か					事前学習	幼少期に自然の中で遊んだ思い出を考える。	
						事後学習	該当部分の教科書を読む。	
	② 領域「環境」のねらいと内容					事前学習	配付資料を読む。	
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。	
	③ 里山保育と環境(1)里山保育の実践例					事前学習	配付資料を読む。	
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。	
	④ 環境教育としての原体験					事前学習	配付資料を読む。	
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。	
	⑤ 里山保育と環境(2)DVD視聴とグループワーク					事前学習	配付資料を読む。	
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。	
	⑥ 幼児の生活と季節					事前学習	配付資料を読む。	
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。	
	⑦ 生き物とのかかわり					事前学習	配付資料を読む。	
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。	
⑧ 身近な物とのかかわり					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑨ 乳幼児の遊びと環境					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑩ 数量、図形および標識、文字とのかかわり					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑪ 構成の工夫					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑫ 幼児教育・保育の施設運営					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑬ 地域社会とのかかわり					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑭ センス・オブ・ワンダーと環境問題					事前学習	配付資料を読む。		
					事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。		
⑮ 試験と講評					事前学習	教科書や配付資料をまとめる。		
					事後学習	15回の授業を振り返る。		
学習上の留意点	教科書、配付資料、VTRを参考に授業を進めるが、各々の事例に対して積極的に取り組むこと。できるだけ自分で考え、自分のことばで各自意見表明できるようにしておくことが望まれる。							
成績評価の方法	定期試験 80% レポートや授業態度 20%				教科書	『保育実践を支える環境』福村出版		
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	1単位
科目名		言葉指導法				担当教員	榊原 菜々枝			
全体目標	幼児の言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、幼稚園教育要領に示された領域「言葉」のねらい及び内容について理解を深める。幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。									
一般目標	幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。									
到達目標	1、領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 2、幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	① 保育における「言葉」とは					事前学習	シラバスの内容をよく読む。			
						事後学習	ノートをまとめる。			
	② 子どもの言葉の発達過程 1	言葉を生む基盤と話し言葉の発達の道筋				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	③ 子どもの言葉の発達過程 2	書き言葉の発達の道筋と小学校における書き言葉				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	④ 子どもの言葉を豊かにする教材:児童文化財	絵本・物語・紙芝居				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑤ 領域「言葉」と教育課程・全体的な計画					事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑥ 子どもの言葉を育む保育の実際(1)	実践記録から読み取る				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑦ 子どもの言葉を育む保育の実際(2)	行事までの取り組み				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	学習上の留意点	⑧ 言葉を育む環境構成と援助 1	話したい、聞きたい意欲を生む援助				事前学習	配付資料を読む。		
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
⑨ 言葉を育む環境構成と援助 2		生活に必要な言葉の習得を支える援助				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
⑩ 言葉を育む環境構成と援助 3		言葉のすれ違いやうまく伝わらないもどかしさへの援助				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
⑪ 言葉に対する感覚を豊かにする実践		言葉あそび(しりとり、言葉集め、郵便やさんごっこなど)				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
⑫ 乳児と言葉		わらべうた				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
成績評価の方法	⑬ 子どもの言葉を育む保育	具体的な保育場面を想定した指導案の作成				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑭ 子どもの言葉を育む保育	教材研究				事前学習	配付資料を読む。			
						事後学習	該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑮ 試験、講評					事前学習	授業内容をまとめる。			
					事後学習	15回の授業を振り返る。				
成績評価の方法	授業への参加(グループ討議・提出物等)40%					教科書	『保育・教育ネオシリーズ20 保育内容・言葉』 太田 光洋 編著 同文書院			
	試験 60%					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習・実習	単位数	1単位
科目名		表現(造形)指導法				担当教員	桑原 恒和		
全体目標	身近な素材を基に制作し、それぞれの技法を教育現場へ出る前に経験を重ねる事								
一般目標	各色の作り方、組合せ、濃さの違いをそれぞれの技法ごとについて学ぶ事								
到達目標	実際に制作を重ね、経験を積む事から各技法の特徴と面白さの理解を深める事								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 指絵(1) 空中の世界を描く					事前学習 事後学習	テーマに合うモチーフを考える 指摘箇所の確認		
	② 指絵(2) 海中の世界を描く					事前学習 事後学習	テーマに合うモチーフを考える 指摘箇所の確認		
	③ 指絵(3) 地中の世界を描く					事前学習 事後学習	テーマに合うモチーフを考える 指摘箇所の確認		
	④ 手のひらを使った絵					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑤ ローラーを使った絵					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑥ はじき絵					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑦ 吹き絵					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑧ ドリッピング画・飛び散らし絵					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑨ スパッタリング画					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑩ ビー玉を使った絵					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑪ 野菜のスタンプ画					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑫ デカルコマニー(合わせ絵)					事前学習 事後学習	技法に合う画面構成を考える 指摘箇所の確認		
	⑬ 木片による立体造形演習(1)					事前学習 事後学習	作るものを考え、組み立てる 指摘箇所の確認		
	⑭ 木片による立体造形演習(2)					事前学習 事後学習	完成をイメージし、着色と仕上げ 指摘箇所の確認		
	⑮ 試験、まとめ					事前学習 事後学習	各技法を組合せ、制作する 指摘箇所の確認		
学習上の留意点	楽しむと同時に、いかに集中して制作する事が大切であることを学ぶ事。又、毎回必要となる画材や素材を忘れずに持参する事。								
成績評価の方法	各課題の提出作品 70% 定期試験 20% 意欲的な受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む) 10%					教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。		
						参考資料	『絵画遊び技法百科』 ひかりのくに株式会社 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部 1年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名	教育実習 I				担当教員	松葉 百香	
全体目標	・意識的に学び子ども理解を深める。 ・幼稚園の役割や保育者の職務を知る。 ・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気付き、積極的に実践する。						
一般目標	・幼稚園の行事を知り、「ねらい」をしっかりと理解した上で、準備・行事での保育の補助・片付けを体験する。						
到達目標	・実習での自分の反省点や課題を見つけて今後の保育につながるようにする。 ・PDCAサイクルに当てはめて、実習記録をしっかりと振り返る。						
授業のながれ	・実習の期間 後期12月に2週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて指導実習(部分)を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参するが、諸事情で困難な場合は郵送などの手段を用いる。						
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 ・教材研究・ピアノ等の事前準備を行ったうえで実習に臨むこと。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。						
成績評価の方法	・実習園の評価を基にオリエンテーション、事前準備、実習記録、実習園訪問指導時の状況を含む実習の取り組む状況を総合的に勘案して評価する ・最終的には教育実習 I・II および教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する				教科書	・『教育・保育実習マニュアル』 ・『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 ・『実習における遊びの援助と展開』 久富陽子(編著) 萌文書林	
					参考資料	・実習関係書類 ・『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	0.5単位
科目名		教育実習事前事後指導Ⅰ				担当教員	松葉 百香		
全体目標	幼稚園・幼保連携型認定こども園について理解する 実習に必要な基礎的事項を具体的に理解する 情報機器や教材を活用して実践力を身につけられるようにする								
一般目標	教育実習の意義、目的、方法を理解する 実習を行う上での必要な知識や技術を学ぶ 実習で実践に繋がるような事前準備や練習を行い実践力を高める								
到達目標	子ども理解、保育方法、内容等と実習での実践的な経験が結びつき理解を深める 保育者として必要な専門知識を身につける 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)について理解して、次へつなげる								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	教育実習の概要(実習の意義・目的・方法) 幼稚園教育要領 総則				事前学習	教科書「第1章実習とは何か」を読んでおく		
						事後学習	「幼稚園教育要領」の総則を読んで理解する		
	②	実習方法について(見学・参加・観察) DVD「続・保育者を目指すあなたへ」				事前学習	教科書「第5章実習の内容」を読んでおく		
						事後学習	どのような保育者になりたいのかまとめておく		
	③	子ども理解 DVD「主体的な遊びで育つ子ども」 秋の工作 平面と立体 工夫の仕方等				事前学習	遊びから育つものについて考える		
						事後学習	様々な工作を「保育雑誌」等から調べておく		
	④	子ども理解 DVD「遊びこそ豊かな学び ④」 実習記録について(1)園児観察記録				事前学習	教科書「ごっこ遊び」を読んでおく		
						事後学習	遊びから育つものについて考える		
	⑤	実習記録について(2)毎日の記録 素材研究 名札作り				事前学習	一日の子どもの活動について記入しておく		
						事後学習	名札を作る		
	⑥	実習記録について(3)週案 実習に向けて(1)実習書類の準備 守秘義務				事前学習	教育要領の5領域の所の理解を深める		
						事後学習	週案を仕上げる		
	⑦	実習に向けて(2)行事や活動について DVD「幼稚園の一日」				事前学習	行事のねらいについて考えておく		
						事後学習	一日の流れに沿って記録を記入する		
	⑧	実習に向けて(3)事前訪問について 目的やねらい 保育者の意図				事前学習	秋から冬にかけての行事について調べておく		
						事後学習	事前訪問時の質問内容等について考えておく		
⑨	実習に向けて(4)注意事項について 心構え(実習目標・実習課題)				事前学習	実習で学びたいことを考えておく			
					事後学習	「心構え」を記入する			
⑩	実習に向けて(5)実習生のあなたならどうする? 保育者の意図・ねらい「教師の援助・配慮」				事前学習	子どもたちに読みたい絵本や手遊びの練習			
					事後学習	一日の流れに沿って記録を記入する			
⑪	実習直前指導 実習最終確認 記録・準備・お礼状・事後訪問 等				事前学習	自分の課題や学びたいことを明確にする			
					事後学習	実習に向けて準備を整えておく			
⑫	実習の事後指導(1)振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流				事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える			
					事後学習	「教育実習をおえて」を記入する			
⑬	実習の事後指導(2)実習課題の明確化 PDCAサイクル 幼稚園教育要領				事前学習	自分の学んだことや課題を明確にしておく			
					事後学習	幼稚園教育要領の理解を深める			
⑭	実習の事後指導(3)子ども理解 DVD「保育の安全と事故防止」				事前学習	幼稚園教育要領の理解を深める			
					事後学習	「保育者として必要なことはなにか」まとめる			
⑮	試験・まとめ				事前学習	教育実習や習ってきたことの理解を深める			
					事後学習	今後の実習への課題を見つけて取り組む			
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持ち、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること								
成績評価の方法	定期試験50% 課題20% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)					教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育実技」久富陽子編 萌文出版 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
	以上を総合的に評価する					参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	1単位
科目名		発達心理学				担当教員	菅田 達也			
全体目標	人間の発達についての理解や視点を深めることを目的とする。心理学的考え方や発達心理学の概要を知るとともに、生涯発達の視点や、人との相互的関わりと発達の関係性を理解する。保育の実践に対する基礎を養うことをねらいとする。									
一般目標	子どもの発達を理解するための、視点を学ぶ。発達観、子ども観、保育観について考え、その関連性について理解する。発達過程についての理解を深める。									
到達目標	1. 保育実践にかかわる心理学の知識を習得する。 2. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。 3. 子どもが人との相互的にかかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。 4. 生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育との関連を考察する。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	オリエンテーション:心理学(発達心理学)とは				事前学習	シラバスを確認する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	②	保育と心理学(1)保育と心理学を考える				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	③	保育と心理学(2)発達理論				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	④	子どもの発達理解(1)…発達と環境				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	⑤	子どもの発達理解(2)…感情の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	⑥	子どもの発達理解(3)…身体・運動機能の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	⑦	子どもの発達理解(4)…知覚・認知の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
						事後学習	授業内容を復習する			
	⑧	子どもの発達理解(5)…ことばの発達と社会性				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する				
⑨	子どもの発達理解(6)…方法論				事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
					事後学習	授業内容を復習する				
⑩	人との相互的にかかわりと子どもの発達(基本的信頼の獲得)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
					事後学習	授業内容を復習する				
⑪	人との相互的にかかわりと子どもの発達(他者との関わり)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
					事後学習	授業内容を復習する				
⑫	生涯発達の過程(1)…誕生から青年期まで				事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
					事後学習	授業内容を復習する				
⑬	生涯発達の過程(2)…壮年期から老年期まで				事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
					事後学習	授業内容を復習する				
⑭	子育て支援とネットワーク				事前学習	教科書の該当箇所を予習する				
					事後学習	授業内容を復習する				
⑮	まとめと試験				事前学習	教科書や課題を振り返る				
					事後学習	授業全体を振り返る				
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについても記述することを心がけること。									
成績評価の方法	平常点(授業参加状況・受講態度など)				20%	教科書	「保育の心理学Ⅰー実践につなげる、こどもの発達理解」井戸ゆかり(編著) 萌文書林			
	小レポート・提出物(適宜実施)				10%					
	定期試験				70%	資料参考	配布プリント			

保 育 科

第 2 部 2 年 生

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	社会学				担当教員	富田 祐一	
全体目標	社会学への入門として社会学の理論・基本的な概念を学び、社会学的思考法を理解することを目指す。						
一般目標	社会学の基本的な理論や概念を学び、いくつかの具体的な事例を取り上げながら、社会を捉え直し、理解を深める。						
到達目標	社会学の基礎的なものの考えを学び、理解する。 身の回りで起こるさまざまな問題に対し、社会学的思考を通じて理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	社会学の基礎概念				事前学習 事後学習	p18～27「イントロダクション」を読む リアクションペーパーの提出
	②	集団論の世界				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	③	社会的行為と社会的ジレンマ				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	④	労働の社会学① 労働の意義				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑤	労働の社会学② 女性の労働と貧困問題				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑥	結婚の社会学① 結婚のかたち				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑦	結婚の社会学② 夫婦別姓問題				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑧	家族の形態と機能				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑨	少子化社会の現状と課題				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑩	ジェンダー① 基本的な考え方				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑪	ジェンダー② ジェンダーフリー				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑫	メディアリテラシー				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑬	エイジングと高齢化社会① 老年人口割合の推移と展望				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑭	エイジングと高齢化社会② 高齢化と福祉社会				事前学習 事後学習	配布資料を読む リアクションペーパーの提出
	⑮	筆記試験・まとめ				事前学習 事後学習	配布プリント、教科書を見直す これまでの学習を振り返る
	学習上の留意点	1 筆記用具を持参し自分の講義ノートをつくること。 2 配布資料は必ず読むこと。 3 関連するニュースや新聞、書籍に関心をもって目を通すこと。 4 授業は主体的、能動的な態度で臨むこと。					
成績評価の方法	① 定期試験 80% ② レポート・受講態度 20%				教科書	社会学がわかる事典 森下伸也 日本実業出版社	
					参考資料	授業にて配布する。	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		自然科学概論				担当教員	桐生 定巳	
全体目標	草花遊びや木の実、草の実などを使った作品作りを通して知識や技能を身につける。							
一般目標	植物の名前や特徴を知るとともに、その植物の特性を生かした遊びや作品作りをする。							
到達目標	・草花遊びや作品作り用の植物を採集し標本にする。 ・草花遊びや作品が作れる。 ・幼児と一緒に多様な自然体験をするための資料を作製する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	クスノキ、スイバなどを使って自然体験の基本を学ぶ				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製	
	②	ナズナの鈴、ヤエムグラのワッペン遊び				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	③	タンポポの風車とうで時計、ヒラドツツジの首飾り				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	④	シロツメクサの指輪と冠				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	⑤	クズの葉鉄砲とムカデ				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	⑥	カラスノエンドウの笛、オオバコの草ずもう				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	⑦	ネザサの船とササあめ、カクレミノのじゃんけん遊び				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	⑧	イヌマキの手裏剣とちようちん				事前学習	植物の特徴を調べる	
						事後学習	標本作製、草花遊びの確認	
	⑨	クロマツの虫かごと弓矢、はかり				事前学習	植物の特徴を調べる	
					事後学習	標本作製、草花遊びの確認		
⑩	クヌギ、コナラ、マテバシイなどどんぐりの遊び				事前学習	植物の特徴を調べる		
					事後学習	標本作製、草花遊びの確認		
⑪	エノコログサの毛虫とひげ、メヒシバのかんざし				事前学習	植物の特徴を調べる		
					事後学習	標本作製、草花遊びの確認		
⑫	カエデ、サクラ、イチョウなどの落ち葉でお絵かき				事前学習	植物の特徴を調べる		
					事後学習	標本作製、草花遊びの確認		
⑬	オオオナモミ、アレチヌスビトハギなどの ひつつき虫での遊びとお絵かき				事前学習	植物の特徴を調べる		
					事後学習	標本作製、草花遊びの確認		
⑭	つる植物や木の実を使ったリース作り				事前学習	植物の特徴を調べる		
					事後学習	標本作製、草花遊びの確認		
⑮	試験・講評				事前学習	学習した植物と遊びの練習		
					事後学習	講評の内容の把握		
学習上の留意点	・四季の移ろいに触れ、より深く自然を知るために、毎時間野外に出て草花遊びや作品を作るための野草や木の実などを採集させる。 ・草花遊びや作品作りが楽しく、効果的に指導できるようにさせる。 ・今後、幼稚園や保育園で有効に活用できる資料となるよう丁寧に記録をとらせる。							
成績評価の方法	授業参加状況や受講態度				30%	教科書	なし	
	自然科学に対する興味関心、観察態度				20%			
	科学的思考を学習中および完成作品				20%	参考資料		
	レポート				30%		草花遊びの資料をプリントして渡す	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	2単位
科目名		日本国憲法			担当教員	李 智基			
全体目標	①法の基本的な成り立ちが理解できること。②憲法の基本的理念が理解できること。③法的思考を養うこと。④保育の専門家として社会的責任の意識をすること。								
一般目標	身近な話題や政治・社会問題を手がかりに日本国憲法の基本的な内容を理解し、憲法に規定された個人の自由や権利がどのように保障されているのか、問題となる自由や権利を巡ってどのような議論があり、その争点は何か、さらには、国家の統治システムはどのようにあるべきか等を、裁判例を素材にしたり、憲法学説を紹介したりして、解説します。その上で各講義テーマにおいて、個人に保障された自由や権利の意味と国家の役割を受講者に考えてもらうことを目標とします。								
到達目標	国家の最高法規であり基本法である日本国憲法について、保育士や幼稚園教諭を目指す学生たちに、その精神や狙いを理解させ、人権意識の高い人間を養成する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習				
	① 憲法と立憲主義				事前学習	憲法と立憲主義に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	② 憲法総論・国民主権・平和主義				事前学習	憲法総論に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	③ 基本的人権を保障する意義				事前学習	人権保障に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	④ 思想・良心の自由				事前学習	精神的自由に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	⑤ 表現の自由				事前学習	表現の自由に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	⑥ 人身の自由				事前学習	自身の自由に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	⑦ 国会				事前学習	国会に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	学習上の留意点	⑧ 内閣				事前学習	内閣に関する教科書の内容を読む		
					事後学習	講義ノートを読む			
⑨ 司法					事前学習	司法に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
⑩ 地方自治					事前学習	地方自治に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
⑪ 財政					事前学習	財政に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
⑫ 近代憲法の歴史的意義					事前学習	近代憲法歴史に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
成績評価の方法	⑬ 国民主権・天皇制				事前学習	天皇制に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	⑭ 平和主義・憲法改正				事前学習	憲法改正に関する教科書の内容を読む			
					事後学習	講義ノートを読む			
	⑮ 試験・まとめ				事前学習	テスト勉強すること			
					事後学習	テスト内容確認			
学習上の留意点	周りの情報にも関心をもち、憲法を単に机上の学問とするのではなく、実際に自分たちの生活と密接にかかわっていること、また将来、子どもたちを守ってやる砦となれるよう、心構えをしっかりと身につけさせる。								
成績評価の方法	受講態度及び・集中度50% 筆記試験50%				教科書	伊藤真の憲法入門 第六版 日本評論社 日本国憲法 講談社			
					参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	国語			担当教員	矢野 桂子		
全体目標	幼児がことばを学び、ことばで考え、表現する力をつける重要な環境の一部としての自覚を持ち、「聞く、話す、読む、書く」力の大切さを再認識するとともに、感性を磨き、いっそう豊かな国語の力をつける。						
一般目標	国語の基礎的・基本的事項についての知識・理解をいっそう深める。言語表現の実践的な諸能力を高める。						
到達目標	・自己紹介・スピーチ・朗読・発表などを通して、考えを伝え合う力をつける。 ・四季の変化の中での暮らし・文化に培われてきた豊かな日本語にふれ、言語生活に活かす意欲を持つ。 ・多様な情報を認識し、よりよい活用について考え、情報処理能力の向上を目指す。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 授業計画 学習上の留意事項	自己紹介の仕方について 自己紹介			事前学習	シラバス下読み	
					事後学習	自己紹介感想・反省	
	② レポートを書く(1) テーマについて話し合い資料を作る	ミニテスト① 各自のテーマを決め、構成メモを作る			事前学習	ケータイ生活を振り返る	
					事後学習	記述内容を考える	
	③ レポートを書く(2) 構成メモをもとに記述する	ミニテスト②			事前学習	構成メモを見直す	
					事後学習	校正する	
	④ レポートを書く(3) レポートを発表する 相互評価する	ミニテスト③			事前学習	発表準備をする	
					事後学習	諸記録等に段落を意識して書くようにする	
	⑤ 豊かな日本語(1) 字源を調べる[漢字・平仮名・片仮名]	ミニテスト④			事前学習	自分の姓名の由来を調べる	
					事後学習	興味を持った漢字を調べる	
	⑥ 豊かな日本語(2) 四季に関することばを調べる	ミニテスト⑤ 二十四節気・七十二候を知る			事前学習	身の周りの季節夏のことばを探す	
					事後学習	自然や暮らしの中の季節感に関心を持つ	
	⑦ 豊かな日本語(3) 時・場・相手に応じた言葉遣いの演習をする	ミニテスト⑥			事前学習	言葉遣いで知りたいことをまとめる	
					事後学習	相手意識を持って話すように心掛ける	
	⑧ 豊かな日本語(4) 成語の成り立ちと意味・活用を考える	ミニテスト⑦ 成語を使って短文を作る			事前学習	好きな熟語を見つける	
					事後学習	会話に成語を活かす	
学習上の留意点	⑨ 読む(1) 絵本・詩・新聞記事を朗読する	ミニテスト⑧ 授業の前後の読み方の違いを評価しあう			事前学習	興味を持った新聞記事を集める	
					事後学習	「読む」ことを生活に取り入れる	
	⑩ 読む(2) 短歌・俳句などの歴史について学ぶ	ミニテスト⑨ 短歌の百人一首・俳句の百人一首を詠む			事前学習	好きな短歌や俳句を集める	
					事後学習	日本の文芸に関心を寄せる	
	⑪ 手紙を書く(1) 礼状や消息の書く練習をする	ミニテスト⑩ 役割を考える・内容による形式を知る			事前学習	手紙を出す相手の住所を調べる	
					事後学習	実習の礼状の下書きをする	
	⑫ 手紙を書く(2) 実習の礼状の下書きを添削しあう	封書・返信はがきなどのマナーを知る			事前学習	前文の言葉を考える	
					事後学習	機会を捉え学習したことを実践する	
	⑬ スピーチ(1) スピーチの意図を知り、準備する	テーマ「自分の成長」原稿を書く			事前学習	自分の内面を見つめる	
					事後学習	原稿の校正をする	
成績評価の方法	⑭ スピーチ(2) スピーチ・感想を発表しあう	成長を認めあい、励ましあう			事前学習	スピーチの練習をする	
					事後学習	学生生活の励みとする	
	⑮ 試験(筆記・作文) 講評				事前学習	試験勉強	
					事後学習	総復習	
学習上の留意点	学びあう時間を充実させ、幼児の育ちに関わる自信と誇りが持てるように、ことばの力を磨こう。 ・よく聴き、よく考え、はっきり話す。 ・資料をしっかりと読む。 ・文字を丁寧に書く。 ・ミニテストで自己評価する。						
成績評価の方法	試験	60%	教科書	授業内容により適時プリント教材使用			
	受講態度	20%	参考資料	『ことばの知識百科』三省堂 『成語林』旺文社			
	作品(レポート・作文・手紙)	20%	参考資料	『現代人のためのことばの知識百科』主婦の友社			
				『なるほど語源物語』大蔵省 詩集多数			
				『この漢字はこのかたち』財務相 新聞記事			
			『日本秀歌秀句の辞典』小学館				
			『子どもの感性を育む』NHK				

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		図画工作				担当教員	桑原 恒和	
全体目標	各学生が基礎的な造形・絵画表現について制作を通してもう一度、体験しつつ各指導を基に図画工作の基本知識を得ます。							
一般目標	各学生が集中して制作を行う事より、楽しみながら独自の工夫を加え、制作を発展させて行く事を自ら学ぶ事です。							
到達目標	身近に在る材料や不思議な形態に気付き、それらを使ってどの様な表現が出来るかを学ぶ事です。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	自分の体から(1)手を描く				事前学習	各部分の向きや厚みを意識する。	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	②	自分の体から(2)耳を描く				事前学習	不思議な形を描く	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	③	自分の体から(3)頭部を描く				事前学習	左右非対称を意識する	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	④	音楽による想像画(1)イメージを描く				事前学習	頭に浮かんだものを描く	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑤	音楽による想像画(2)仕上げる				事前学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑥	個別指導、採点、お面作りの下絵制作				事前学習	どんなお面を作るか考える	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑦	紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り				事前学習	全体の大きさやボリュームを考える	
						事後学習	指摘箇所の確認	
学習上の留意点	⑧	紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る				事前学習	立体感を意識しての制作	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑨	紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作				事前学習	細部を工夫する	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑩	紙粘土によるお面制作(4)修正				事前学習	丁寧にひび割れた所を修正する	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑪	紙粘土によるお面制作(5)着色				事前学習	色の組み合わせに注意する	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑫	紙粘土によるお面制作(6)仕上げ				事前学習	違う素材との組み合わせを考える	
					事後学習	指摘箇所の確認		
成績評価の方法	⑬	画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター				事前学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑭	画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン				事前学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ	
						事後学習	指摘箇所の確認	
	⑮	試験、まとめ				事前学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとする	
						事後学習	指摘箇所の確認	
成績評価の方法	通常各課題 70% 定期試験 20% 受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む) 10%				教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。		
					参考資料	「絵画制作・造形」 東京書籍		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	通年	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	音楽Ⅱ(器楽)				担当教員	花井 英一・桐生 敬子	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項について、鍵盤楽器の演習を通して、知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	1年音楽(器楽)の演奏技術にさらに高い技能を習得し、幼児の発達過程や音楽を理解し、より音楽的な演奏力・表現力の向上を目標とする。						
到達目標	1. 各曲の適切な伴奏法(幼児の感性や表現する力、創造性を育む伴奏)を常に考察し、習得する。 2. レパートリーを一曲でも多くし、表現豊かに曲を弾きとおす伴奏法を習得する。 3. いろいろな曲の演習を通して、教材の活用法や演奏技術を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	器楽記録表と曲目リストの配布・カリキュラム説明				事前／事後	曲の譜読み・練習／説明内容の把握
	②	歌の伴奏法と効果的練習方法の説明と個人指導				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	③	個人指導(生活のうた「おはようのうた」など)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	④	個人指導(生活のうた「おべんとう」など)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑤	個人指導(生活のうた「おかえりのうた」など)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑥	個人指導(春のうた せんせいとおともだちなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑦	個人指導(曲の速さについて チューリップなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑧	個人指導(前奏の大切さ おはようなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑨	個人指導(姿勢・手首など基本の点検 ぶんぶんぶん)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑩	個人指導(指使いの重要性 かたつむりなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑪	個人指導(フレージング 音楽の呼吸 ちょうちょうなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑫	個人指導(夏のうた うみ など)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑬	個人指導(旋律と伴奏のバランス とけいのうたなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑭	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出				事前／事後	器楽記録票の点検／試験曲の練習
	⑮	前期実技試験・講評				事前／事後	試験曲の練習／講評の内容の把握
	⑯	器楽記録表配布・カリキュラム説明				事前／事後	曲の譜読み・練習／説明内容の把握
	⑰	個人指導(表情豊かな演奏 おはながわらったなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑱	個人指導(就職試験にむけて どんぐりころころなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑲	個人指導(秋のうた まつぼっくりなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	⑳	個人指導(ダンパーペダル あめふりくまのこなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉑	個人指導(うたあそび しあわせならてをたたこうなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉒	個人指導(わらべうた あんたがたどこさなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉓	個人指導(いろいろな伴奏 きくのはななど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉔	個人指導(冬のうた ゆきなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉕	個人指導(英語のうた キラキラ星など)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉖	個人指導(季外のうた いぬのおまわりさんなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉗	個人指導(行事のうた きょうからおともだちなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉘	個人指導(行事のうた 修了のうたなど)				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認
	㉙	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出				事前／事後	器楽記録票の点検／試験曲の練習
	㉚	後期実技試験・講評				事前／事後	試験曲の練習／講評の内容の把握
学習上の留意点	・各自選択曲をしっかりと練習して授業に臨むこと。教員の助言したポイントに気をつけて、家での毎日の練習の他、学校でもわずかな時間を大切に練習すること。 ・幼児のことを常に意識した導入(言葉がけや曲のイメージ)・表情豊かな弾き歌いで曲を弾きとおすことができるように練習する。教員の助言したポイントに気をつけて練習をすること。						
成績評価の方法	前期実技試験 50%:後期実技試験 50% ※試験曲は、前期・後期ともに授業時合格曲のレベルと合計点による。(器楽記録票の提出必須) ※平常点(弾き歌い発表や授業参加状況、受講態度など)を勘案する。 ※評価が、前期>後期であれば平均値、前期<後期であれば、後期の値をとる。				教科書	「幼児のうたとあそび」 曲目一覧表 器楽記録表 プリント教材	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	通年	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名	音楽Ⅱ(声楽)				担当教員	都築 美和子	
全体目標	幼児教育実践の場において要求される歌唱技能の向上を目標とする。						
一般目標	幼児に楽しい音楽を伝えられるよう歌唱指導の実習をする。						
到達目標	多くの歌唱経験を通して表情豊かな歌唱力を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	『うたとあそび』より季節のうた「おはながわたった」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	②	季節のうた「つぼみのうた」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	③	季節のうた「花・はと・ピアノ」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	④	弾きうたいの重要性、季節のうた「チューリップ」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑤	弾きうたいの注意点、季節のうた「ぶんぶんぶん」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑥	歌の前奏の重要性、季節のうた「こいのぼり」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑦	歌と伴奏のバランス、季節のうた「バスごっこ」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑧	アカペラの重要性、季節のうた「あめふりくまのこ」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑨	歌唱指導発表「かたつむり」など				事前／事後 指導準備／習得確認	
	⑩	歌唱指導発表「しゃぼん玉」など				事前／事後 指導準備／習得確認	
	⑪	歌唱指導発表「ありさんのおはなし」など				事前／事後 指導準備／習得確認	
	⑫	試験曲譜読み、諸注意「はっぱははた」				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑬	試験曲譜読み「山のワルツ」				事前／事後 読譜・練習／試験曲把握	
	⑭	試験曲練習				事前／事後 試験曲練習／指摘箇所確認	
	⑮	実技試験、講評				事前／事後 試験曲練習／講評内容把握	
	⑯	季節のうた「秋」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑰	季節のうた「どんぐり」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑱	季節のうた、弾きうたい「まつぼっくり」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑲	季節のうた、弾きうたい「つき」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	⑳	身体表現をつけて歌う「おもちゃのチャチャチャ」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	㉑	季節のうた「きくのはな」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	㉒	季節のうた「七五三」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	㉓	季節のうた、弾きうたい「こぎつね」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	㉔	季節のうた、弾きうたい「どんぐりころころ」など				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	㉕	リズム楽器合奏、曲のアレンジ「赤鼻のトナカイ」				事前／事後 合唱準備・練習／習得確認	
	㉖	歌・器楽合奏の指導法「アイアイ」				事前／事後 読譜・練習／習得確認	
	㉗	試験曲譜読み「べこの子 うしの子」				事前／事後 読譜・練習／試験曲把握	
	㉘	試験曲練習「サッちゃん」				事前／事後 読譜・練習／指摘箇所確認	
	㉙	試験曲練習				事前／事後 試験曲練習／指摘箇所確認・習得確認	
	㉚	実技試験、講評				事前／事後 試験曲練習・実技試験／講評内容把握	
学習上の留意点	幼児と共に楽しく歌えるように、多くの曲を正しく読譜し、早く暗譜する。 人の前に立ち堂々と歌えるよう努力する。						
成績評価の方法	定期試験の歌唱テスト				70%	教科書 参考資料	『幼児のうたとあそび』
	歌唱指導発表				20%		
	授業参加状況、受講態度				10%		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	教育課程総論				担当教員	松葉 百香	
全体目標	様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解する これまでの幼児教育の変遷を理解する 幼児教育の制度や内容など「幼児教育のあり方」を学ぶ						
一般目標	教育課程や全体的な計画を考える上で必要なことや計画の大切さについて総合的に学ぶ 部分や一日の「指導計画」を作成・実践して、自己課題を見つける 幼児教育施設に求められることについて学ぶ						
到達目標	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を理解する 保育現場で必要とされる計画について作成・実施・振り返りながら次につなげていくことができる 様々な教育課程・全体的な計画の意義や内容について理解してそれを基に計画が作成できるようにする						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 歴史(1) 幼稚園教育課程・保育所保育課程の変遷				事前学習	幼稚園教育要領P.3の所を読んでおく	
					事後学習	学んだことを復習しておく	
	② 歴史(2) 幼児教育・様々な教育課程等				事前学習	プリントを読んで流れをつかんでおく	
					事後学習	幼稚園教育要領P.8～11を読んでおく	
	③ 教育課程・全体的な計画とは(1) 幼稚園教育要領				事前学習	図書館で指導計画について調べる	
					事後学習	学んだことを復習しておく	
	④ 教育課程・全体的な計画とは(2) 保育所保育指針				事前学習	保育所保育指針P. 8～10を読んでおく	
					事後学習	子どもの活動を3種類程度考える	
	⑤ 子ども理解 長期指導計画と短期の指導計画とは				事前学習	教科書の指定された所を読んでまとる	
					事後学習	様々な指導計画を理解する	
	⑥ 「指導計画」とは 夢中になれる活動とは				事前学習	決めた年齢の指導計画について調べる	
					事後学習	子どもの活動を30分程度で数える	
	⑦ 子どもの姿から「指導計画」を作成する 保育者の意図「心情・意欲・態度」				事前学習	活動記入用紙に記入する	
					事後学習	「保育者の意図」を考えて仕上げる	
	⑧ 三法令について(1)幼稚園教育要領等 計画を考える上で必要なこと 5領域				事前学習	「幼稚園教育要領」の5領域の所を読む	
				事後学習	学んだことを復習し発表準備をする		
⑨ 指導計画の実践・演習・発表(1) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける				事前学習	発表準備をする		
				事後学習	PDCAサイクルに当てはめて考える		
⑩ 指導計画の実践・演習・発表(2) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける				事前学習	展開方法や工夫などについて考える		
				事後学習	更によくなるように、様々な方法を考える		
⑪ 指導計画の実践・演習・発表(3) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける				事前学習	子ども理解を深め、教科書や本をまとる		
				事後学習	子どもに合った活動になるように考える		
⑫ 指導計画の実践・演習・発表(4) 自己評価 PDCAサイクル「いいね」を見つける				事前学習	これまでの発表を振り返り、まとめておく		
				事後学習	友だちや自分の発表内容を振り返る		
⑬ 三法令について(2)幼稚園教育要領等 育みたい資質能力「三つの柱」・小学校との接続				事前学習	小学校との接続について考えてくる		
				事後学習	今後の幼児教育の役割について考える		
⑭ 三法令について(2)幼稚園教育要領等 3法令に共通する改訂のポイント等 まとめ				事前学習	大事なポイントをまとめてくる		
				事後学習	歴史的なことから総合的に理解を深める		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	学んだことを復習する		
				事後学習	自分の課題に気づき、今後につなげる		
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること						
成績評価の方法	定期試験50% 課題20% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)	教科書	「就学前教育の計画を学ぶ」松村和子著 ななみ書房 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」				
	以上を総合的に評価する	参考資料	「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」				

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	表現(音楽)指導法				担当教員	奥村 正子	
全体目標	音楽基礎を体で表現することから、器用性の発達、表現の自由、統御力を育成する。						
一般目標	幼児の発達に合わせた反応運動を理解し、指導する方法を習得する。						
到達目標	1 リズム運動を通しリズムカルで美しい体の動きを身につける。 2 注意集中力を高める。 3 リズムゆうぎ、創作舞踊を通し指導者としての実演する方法を学ぶ。						
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習		
	① オリエンテーション(DVD鑑賞)				事前学習	シラバス確認	
					事後学習	内容把握	
	② リトミック基本動作の体得(1)柔軟・歩行(テキストP4～6)				事前学習	テキストに目を通しておく	
					事後学習	内容確認	
	③ リトミック基本動作の体得(2)音符・休符(テキストP4～10)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	④ リトミック基本動作の体得(3) 拍子(テキストP80～85)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑤ リトミック基本動作の体得(4)音階(テキストP4～10,86,87)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑥ 音楽と動き(1)リズムゆうぎ(春・夏)(テキストP14～20)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑦ 音楽と動き(2)リズムゆうぎ(秋冬/季外)(テキストP23～33, 50～77)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
学習上の留意点	⑧ 音楽と動き(3)創作舞踊①一振付を覚える(実技見本)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑨ 音楽と動き(4)創作舞踊①一1人で踊る(実技見本)				事前学習	テーマ、曲を考えておく	
					事後学習	内容確認	
	⑩ 音楽と動き(5)創作表現を学ぶ 曲の選択/話し合い(グループワーク)				事前学習	振付を考えておく	
					事後学習	内容確認	
	⑪ 音楽と動き(6)創作表現を学ぶ 振付を考える(グループワーク)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
	⑫ 音楽と動き(7)創作表現を学ぶ 発表(発表録画)				事前学習	前回実技復習	
					事後学習	内容確認	
成績評価の方法	⑬ 音楽と動き(8)創作表現を学ぶ 反省(発表録画鑑賞)				事前学習	発表について振り返る	
					事後学習	内容確認	
	⑭ 総合的に復習				事前学習	総合的に復習	
成績評価の方法					事後学習	試験内容把握	
	⑮ 試験・まとめ				事前学習	試験練習	
					事後学習	講評の内容把握	
成績評価の方法	定期試験 60%				教科書	天野式「幼児リトミッカー	
	授業参観状況 20%					うた、ゆうぎ、ピアノ即興奏法一」	
成績評価の方法	受講態度 20%				参考資料	奥村京子(編)	
						天野式「幼児リトミック第1・2集」永倉栄子(編)	
成績評価の方法					「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	1単位
科目名		表現(造形)指導法Ⅱ				担当教員	中島 法晃			
全体目標	子どもにとっての最初の先生となる保育士となるために、絵を描いたり造形したりする楽しさや喜びを本授業において身につけ、幼児に対しどのように指導するべきかを議論することを目指します。									
一般目標	幼児の絵や造形についての理解を深め、現場で使うことができる様々な技法や、廃材を使用した立体制作、その指導法を学びます。									
到達目標	授業を通して卒業後、保育現場で幼児に表現することの楽しさを伝えることができるような保育士を目指します。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	オリエンテーション、道具類の説明、 子どもの作品鑑賞				事前学習	初回時にスケッチブック、のり、はさみを持参			
						事後学習	道具の用意			
	②	様々な技法の説明				事前学習	初回に説明したすべての道具を持参			
						事後学習	資料に目を通し内容を把握する			
	③	新聞紙で洋服づくり/廃材制作指導法				事前学習	新聞紙2日分を持参			
						事後学習	広告紙や包装紙を保管しておく			
	④	フィンガーペイント指導法				事前学習	汚れても良い服、絵の具セット持参			
						事後学習	指の形からどのような模様のスタンプができるかを探す			
	⑤	デカルコマニー指導法				事前学習	絵の具セット、クレヨン持参			
						事後学習	身の回りで見立てについての復習			
	⑥	スクラッチ指導法 /幼児の空間把握指導法				事前学習	絵の具セット、クレヨン持参			
						事後学習	身の回りにある削る道具を探し報告する			
	⑦	大空に絵を描こう！				事前学習	絵の具セット、クレヨン持参			
						事後学習	いろんな景色に絵を当てはめて鑑賞			
	⑧	バチック法指導法				事前学習	絵の具セット、クレヨン持参			
						事後学習	3原色で30色の色を作る			
⑨	小麦粉粘土指導法				事前学習	汚れても良い服、小麦粉500gを持参				
					事後学習	家庭にある道具を使って制作				
⑩	見立て絵指導法				事前学習	公園や自然がある場所にでかけ落ち葉を拾う				
					事後学習	余った素材で応用し制作				
⑪	行灯作り指導法				事前学習	あんどん、ちょうちん、ねぶたなどのリサーチ				
					事後学習	家庭に飾って撮影する				
⑫	壁面構成（計画）				事前学習	行事内容のリサーチ				
					事後学習	制作するための素材集め				
⑬	壁面構成（制作）				事前学習	素材を持参				
					事後学習	グループごとに次回の内容確認				
⑭	壁面構成（完成）				事前学習	完成させるための制作準備				
					事後学習	各グループで共有した内容の確認				
⑮	試験、まとめ				事前学習	これまでの内容の復習				
					事後学習	講評のフィードバック				
学習上の留意点	全課題提出を目標とし、授業に臨む姿勢を大切にする。 日常から美術館やギャラリーなどに出かける習慣をつけると良い。 個人制作とグループ制作の両方をおこなうため、コミュニケーションを大切にする。									
成績評価の方法	授業参加状況や授業態度（持ち物チェック） 50%					教科書				
	作品、提出物 50%					参考資料	「保育をひらく造形表現」萌文書林 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
	課題未提出がある場合は厳しい評価となる。									

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		教育相談				担当教員	菅田 達也	
全体目標	幼児理解を基本として、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考える力を身につける。また、幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身につける。							
一般目標	(1)幼児理解を深め、基礎的態度やその方法を具体的に理解する。 (2)幼稚園における教育相談の意義と理論を理解する。 (3)教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。 (4)教育相談の具体的な進め方や組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。							
到達目標	①発達や学びを捉える原理を踏まえ、幼児教育における教育相談の意義と課題を理解している。②教育相談に関わる心理学の基礎的な理論・概念を理解している。③個と集団の関係を捉える意義や方法を理解し、幼児が示すシグナルに気づき把握する方法を理解している。④保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。⑤教育相談の組織的な取り組みの必要性や専門機関との連携の意義や必要性を理解している。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーションー教育相談の意義ー				事前学習	シラバスを読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	②	教育相談とは何か				事前学習	前回の資料を読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	③	教育相談における基本的な理論・概念ーカウンセリング理論ー				事前学習	前回までの資料を読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	④	教育相談における基本的な理論・概念ー精神分析学ー				事前学習	前回までの資料を読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	⑤	教育相談における基本的な理論・概念ー分析心理学ー				事前学習	前回までの資料を読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	⑥	教育相談における基本的な理論・概念ー認知・行動療法ー				事前学習	前回までの資料を読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	⑦	自己理解と他者理解(幼児理解) イメージ・表現				事前学習	前回までの資料を読む	
						事後学習	授業ノートの復習	
	⑧	自己理解と他者理解(学び) 学び				事前学習	前回までの資料を読む	
					事後学習	授業ノートの復習		
⑨	障害についてー総論ー				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	授業ノートの復習		
⑩	障害についてー各論 自閉スペクトラム症、SLD、ADHD等ー				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	授業ノートの復習		
⑪	アセスメント 観察				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	授業ノートの復習		
⑫	アセスメント 記録				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	授業ノートの復習		
⑬	対応ー教師(保育士)の連携ー				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	授業ノートの復習		
⑭	教師(保育者)のメンタルヘルスー自己統合に向けてー				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	授業ノートの復習		
⑮	学びの振り返り・まとめ・試験(定期試験)				事前学習	前回までの資料を読む		
					事後学習	学びの振り返りをする		
学習上の留意点	理解のためには発達心理学、臨床心理学、精神保健、教育心理学、児童福祉、障害児保育、養護原理などの基本的知識が必要であるので、開講されている講座を理解しておくように心がける。							
成績評価の方法	定期試験				教科書	特に指定しない		
	平常点(受講態度)				参考資料	「よくわかる教育相談」ミネルヴァ書房		
	平常点(授業参加状況)					「発達障害の教育相談ー理解深化への手びき」同成社 「保育士のための発達障害児の見つけかた」同成社 「家庭との連携と子育て支援ーカウンセリングマインドを生かして」ミネルヴァ書房		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名	教職実践演習				担当教員	菅田 達也・鈴木 将也・須田 昂宏 井谷 雅治・伊藤 直			
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員として資質として統合され、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。								
一般目標	講義、模擬保育を通じて、教職課程の学びの集大成をはかる								
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員などと信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① ガイダンス(授業内容の説明)					事前学習	シラバスを確認する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	② 保育者の職務の実践的理解(1)学級運営・概論					事前学習	実習中の学級運営を振り返る		
						事後学習	授業内容を復習する		
	③								

シラバス(授業計画)

部・学年	2部 2年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名	教育実習Ⅱ				担当教員	松葉 百香	
全体目標	・教育実習Ⅰでの課題を改善し、授業と実習とを関連づけて知識・技術を深める。 ・指導案作成・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気づき、積極的に実践する。						
一般目標	・教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。 ・子どもの姿を丁寧に観察したことに基づいて、ねらいを設定し、「指導計画」を作成する。						
到達目標	・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。 ・PDCAサイクルに当てはめて、毎日の実習記録や指導計画をしっかりと振り返る。						
授業の内容	・実習の期間 前期10月に2週間実施。 ・実習の内容 実習園の指示に従い、参加(部分)実習に加え、指導実習(一日・半日)を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ演奏については積極的に随時行う。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施し、実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。						
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としてふさわしい態度で臨む。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 (遅刻・早退・欠席等は必ず) ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守すること。 ・指導案作成・教材研究・保育方法・ピアノ等の事前準備を行ったうえで実習に臨むこと。 注: 本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。						
成績評価の方法	・実習園の評価を基にオリエンテーション、事前準備、実習記録、実習園訪問指導時の状況を含む実習の取り組み状況を総合的に勘案して評価する ・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する				教科書および参考資料	《教科書》 ・『教育・保育実習マニュアル』 ・『幼稚園教育要領』 ・『幼稚園教育要領解説』 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 ・『実習における遊びの援助と展開』 久富陽子(編著) 萌文書林 《参考資料》 ・実習関係書類	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	0.5単位
科目名		教育実習事前事後指導Ⅱ				担当教員	松葉 百香		
全体目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする 実習の計画、観察、記録の内容や方法について具体的に理解する								
一般目標	保育者に求められる資質や専門性について学ぶ 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)を行いながら次につなげていく 指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動の実践力を身につける								
到達目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 子どもの見方やかかわり方など、様々な角度から考えられるようになる 保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	教育実習Ⅱに向けての心構えと事前準備 DVD「続保育者を目指すあなたへ第2巻」 指導実習				事前学習	2種類の「指導計画」を記入し提出する		
						事後学習	「活動記入用紙」にいくつか記入しておく		
	②	事前訪問 幼稚園教育要領 第1章 総則 等				事前学習	幼稚園教育要領P.5～13を読んで理解する		
						事後学習	具体的な活動から子どもの姿を理解する		
	③	記録の記入(1)指導計画 前日までの子どもの姿 保育方法の確認「手遊び」				事前学習	教育実習Ⅱの「心構え」を記入する		
						事後学習	子どもの姿を予測して指導計画を修正する		
	④	記録の記入(2)「教師の援助・配慮」「教師の意図・ねらい」 保育方法の確認「リズム遊び」				事前学習	自分の指導計画のねらいについて考察する		
						事後学習	実習クラスに合った「指導計画」を2種類立てる		
	⑤	記録の記入(3)園児観察記録 DVD「遊びこそ豊かな学び」 保育方法の確認「わらべうた・集団遊び」				事前学習	子どもたちの前で実践できるよう練習を重ねる		
						事後学習	自分の学びたいことや課題を明確にしておく		
	⑥	実習直前指導 最終確認 実習記録・準備・お礼状・事後訪問				事前学習	子どもたちの前で実践できるよう練習を重ねる		
						事後学習	最終確認をして、準備を整えておく		
	⑦	事後指導(1)振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流				事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える		
						事後学習	「教育実習を終えて」を記入する		
	⑧	事後指導(2)今後の自己課題 保育者の専門性について エプロンシアター発表				事前学習	自分の課題を明確にしておく・発表練習		
					事後学習	PDCA サイクルをもとに振り返る			
⑨	事後指導(3)子ども理解 エプロンシアター発表				事前学習	発表練習をする			
					事後学習	自分の課題や友だちの課題に気づく			
⑩	配慮を必要とする子ども(1)グループ討議「子ども」 DVD「軽度発達障害のある子どもたちについて」				事前学習	配慮の必要な子どもの姿を思い出しておく			
					事後学習	配慮が必要な様々な子どもの姿を記入する			
⑪	配慮を必要とする子ども(2)グループ討議「保育者」 DVD「幼児のかかわりを考えるシリーズ」				事前学習	保育者の援助・配慮について考えておく			
					事後学習	友だちの意見や自分の意見をまとめる			
⑫	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(1) 育みたい資質・能力「三つの柱」 小学校教育との接続				事前学習	幼稚園教育要領を読んで線を引いておく			
					事後学習	分からないところに対して質問できるようにする			
⑬	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(2) 主体的・対話的で深い学び、カリキュラムマネジメント				事前学習	理解を深め、分からないところを明確にしておく			
					事後学習	学んだことを復習しておく			
⑭	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(3) 3法令共通する改訂のポイント等 まとめ				事前学習	3要領の同じ部分をまとめておく			
					事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する			
⑮	試験・まとめ				事前学習	専門知識と実習がつながり理解を深める			
					事後学習	今後の課題を見つけて練習が学びを深める			
学習上の留意点	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること								
成績評価の方法	定期試験50% 課題20% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)					教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育実技」久富陽子編 萌文出版 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」		
	以上を総合的に評価する					参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	社会的養護				担当教員	横井 直子	
全体目標	社会的養護が担う責任と役割を理解し、保育専門職としての質の向上を目指す						
一般目標	社会的養護の現状と課題について学習する。 社会的養護における児童の権利擁護や倫理について学ぶ。						
到達目標	日常生活援助、治療的援助、法制度等について学び、代替的養育で行われる支援の在り方を学ぶ。 個々の支援計画作成に繋げられるよう知識と技術を整理する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 社会的養護の理念と概念				事前学習 事後学習	教科書P21～24を読む 社会的養護の理念を復習する	
	② 社会的養護における児童の権利擁護と倫理及び責務				事前学習 事後学習	教科書P25～26を読む 配布した参考資料に目を通す	
	③ 施設養護の特性と実際				事前学習 事後学習	児童福祉施設の種類を調べる 子どもの最善の利益についての復習	
	④ 家庭的養護の特性と実際				事前学習 事後学習	教科書P54～56を読む 里親制度についての復習	
	⑤ 社会的養護と社会(家族機能とは)				事前学習 事後学習	家族とは何か考える 配布資料に目を通す	
	⑥ 社会的養護と専門職				事前学習 事後学習	保育士の専門性とは何か考える。 教科書P166～167を読んで復習	
	⑦ 社会的養護と保育士(求められる役割)				事前学習 事後学習	教科書P182～185を読む 自立支援についての復習	
	⑧ 中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)				事前学習 事後学習	7回までの内容確認 理解不足の項目の復習	
	⑨ 社会的養護における専門技術(支援理論と記録)				事前学習 事後学習	報・連・相とは何か考える。 記録についての復習	
	⑩ 社会的養護における専門技術 (虐待予防などに関する事項)				事前学習 事後学習	教科書P176～178を読む 虐待対応についての復習	
	⑪ 社会的養護における専門技術 (児童心理治療施設での取り組み)				事前学習 事後学習	教科書P192～193を読む 治療的養育についての復習	
	⑫ 社会的養護における専門技術 (自立支援計画)				事前学習 事後学習	教科書P236～237を読む 自立支援計画の復習	
	⑬ 地域との関わり(地域福祉・ネットワーク)				事前学習 事後学習	保育所と地域の関わりに何があるか考える。 地域の子育て支援にできる事を考える。	
	⑭ 社会的養護の課題				事前学習 事後学習	13回までの内容を振り返る 社会的養護で保育士に求められている事	
	⑮ 試験とまとめ				事前学習 事後学習	重要事項について説明できるよう整理する。 理解不足箇所の復習	
学習上の留意点	自立支援計画の模擬作成を目標に学習を進めます。授業で学んだ知識の復習、 保育士としての専門性を活かした支援とはどんなものかを意識しながら取り組んでください。						
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%				教科書	「新しい社会的養護とその内容」 鈴木勉 編 青鞆社	
					参考資料	適宜紹介します。	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習		単位数	4単位
科目名		子どもの保健Ⅰ			担当教員	菅田 陽子			
全体目標	子どもの健全育成のために必要とする身体発達や生理、運動ならびに精神機能の発達を理解する。								
一般目標	子どもの生理的特徴を知り、病気の特徴とその予防法、対応について理解する。								
到達目標	子どもの生理的特徴を理解する力を習得する。 保育における子どもをとりまく環境、衛生、安全管理についての知識を習得する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習				
	①	オリエンテーション 子どもとは			事前／事後	教Ⅰp7～13を読む/配付資料①復習			
	②	子どもの健康とは			事前／事後	教Ⅰp7～13を読む/配付資料①復習			
	③	子どもの健康と保健の意義			事前／事後	教Ⅰp7～13を読む/①復習・演習ノート1章			
	④	子どもの発育・発達			事前／事後	教Ⅰp15～24を読む/配付②復習			
	⑤	身体発育とその評価			事前／事後	教Ⅰp15～24を読む/配付②復習			
	⑥	歯の発達			事前／事後	教Ⅱp46歯の順序を読む/配付③復習			
	⑦	生理機能の発達(呼吸・循環)			事前／事後	教Ⅰp31～33を読む/配付③復習			
	⑧	生理機能の発達(免疫・消化器)			事前／事後	教Ⅰp34～38を読む/配付③復習			
	⑨	生理機能の発達(腎・水分代謝)			事前／事後	教Ⅰp38～41を読む/配付③復習			
	⑩	生理機能の発達(体温調節・内分泌・感覚)			事前／事後	教Ⅰp41～46を読む/③復習・演習ノート2・3章			
	⑪	生理機能の発達(神経・運動・精神行動)			事前／事後	教Ⅰp47～57を読む/配付③復習			
	⑫	子どものあそび・演習ノートおさらい			事前／事後	子どものあそびを考える/配布③復習演習ノートp71			
	⑬	子どもの病気の特徴・感染症			事前／事後	教Ⅰp59～60を読む/配付④復習			
	⑭	予防接種とスケジュール			事前／事後	予防接種・ワクチンガイドを読む/ワクチンスケジュール復習			
	⑮	感染症と予防接種(ワークシート)			事前／事後	予防接種・ワクチンガイドを読む/ワクチンスケジュール復習			
	⑯	ワークシート作成			事前／事後	予防接種・ワクチンガイドを読む/ワークシート作成 ワークシート作成			
	⑰	症状別ケア・薬の投与			事前／事後	教Ⅱp112～122を読む/配付⑤復習			
	⑱	子どもの病気(先天異常・アレルギー疾患)			事前／事後	教Ⅰp70～71を読む/配付⑤復習			
	⑲	子どもの病気(消化器～感覚器)			事前／事後	教Ⅰp73～80を読む/配付⑤復習			
	⑳	子どもの病気(整形・内分泌・代謝・SIDS)			事前／事後	教Ⅰp81～85を読む/⑤復習・演習ノート6章			
	㉑	子どもの生活環境と精神保健・心の健康と課題			事前／事後	教Ⅰp87～102を読む/配付⑥復習			
	㉒	保育の環境整備と保健(衛生管理)			事前／事後	教Ⅰp107～114を読む/⑦復習・演習ノート5章			
	㉓	グループワーク(よりよい保育環境と保健)			事前／事後	教Ⅰp108よりよい保育環境を考える/グループワーク			
	㉔	グループワーク発表			事前／事後	教Ⅰp108よりよい保育環境を考える/グループワーク			
	㉕	保育現場の事故防止と安全対策			事前／事後	教Ⅰp117～121を読む/⑦復習・演習ノート7章			
	㉖	組織におけるよりよい連携			事前／事後	教Ⅰp123～124を読む/配付⑦復習			
	㉗	母子保健対策と保育			事前／事後	教Ⅰp124～131を読む/配付⑦復習			
	㉘	病児・病後児保育事業			事前／事後	教Ⅰp131～132を読む/配付⑦復習			
	㉙	演習ノートおさらい			事前／事後	演ノートおさらいテスト/①～⑦復習・演習ノートまとめ			
	㉚	試験とまとめ			事前／事後	まとめとテスト/①～⑦復習・演習ノートまとめ			
学習上の留意点	配付資料は各自でまとめファイリングしておくこと。 積極的に授業に取り組むこと。 グループワークは円滑に進むよう協力すること								
成績評価の方法	平常点(授業参加状況や受講態度など)	30%	教科書	「子どもの保健Ⅰ」 佐藤益子ほか(編) ななみ書房 「子どもの保健Ⅱ」 佐藤益子ほか(編) ななみ書房 0歳からのワクチン接種ガイド「日経メディカル開発」					
	定期試験	70%		参考資料	「子どもの保健」診断と治療社 「子どもの保健 理論と実際」同文書林				

シラバス(授業計画)

部・学年		2部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名		子どもの保健Ⅱ				担当教員	菅田 陽子	
全体目標	子どもの成長・発達を理解し、その保健に関する実践ができる能力を養う。							
一般目標	子どもの病気の予防と適切な対応、応急処置やけがの手当法、日常生活援助の方法を習得する。							
到達目標	日常生活援助が具体的に実施できる(清潔、排泄、発達)。 子どもの救急法について知識を習得する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	① オリエンテーション					事前学習	教Ⅱ・演ノートの目次、教Ⅱp7~13を見る	
						事後学習	配付資料の復習	
	② 身体計測(母子健康手帳の見方)					事前学習	教Ⅱp15~24を読む	
						事後学習	配付①の復習・演ノート第1章復習	
	③ バイタルサイン測定・健康観察の方法					事前学習	教Ⅱp25~26を読む	
						事後学習	配付②の復習・演ノート第3章復習	
	④ 清潔習慣の援助(手洗い・含嗽・歯磨き)					事前学習	教Ⅱp44~48を読む	
						事後学習	配付③の復習・演ノート第4章復習	
	⑤ 排泄習慣の援助(紙おむつのしくみ・実験)					事前学習	教Ⅱp55~58を読む	
						事後学習	配付④の復習・演ノート第4章復習	
	⑥ 排泄習慣の援助 (おむつ交換の方法/紙パンツ・布おむつ・拭き方)					事前学習	教Ⅱp55~58を読む	
						事後学習	配付⑤の復習・演ノート第4章復習	
	⑦ 発達の援助(抱き方・背負い方・寝かしつけ)					事前学習	教Ⅱp52~54を読む	
						事後学習	配付⑥の復習・演ノート第4章復習	
	⑧ 発達の援助(衣服の着脱・交換方法)					事前学習	教Ⅱp49~51を読む	
						事後学習	配付⑦の復習・演ノート第4章復習	
⑨ 沐浴の方法(清拭)					事前学習	教Ⅱp64~67を読む		
					事後学習	配付⑧の復習・演ノート第4章復習		
⑩ 応急処置の方法					事前学習	教Ⅱp100~111を読む		
					事後学習	配付⑨の復習・演ノート第8章復習		
⑪ 子どもの救急法(救命処置)・WEB講習					事前学習	教Ⅱp87~99を読む		
					事後学習	配付⑩の復習・演ノート第8章復習		
⑫ 母乳栄養(調乳方法)					事前学習	教Ⅱp58~64を読む		
					事後学習	配付⑪の復習・演ノート第4章復習		
⑬ 衛生管理					事前学習	教Ⅱp125~132を読む		
					事後学習	ワークシート作成、		
⑭ 保育用品の実際(見学)					事前学習	保健に関する保育用品について調べる		
					事後学習	ワークシート作成		
⑮ まとめと試験					事前学習	復習をする		
					事後学習	教Ⅰ,教Ⅱ, 演ノートの復習		
学習上の留意点	積極的に演習に取り組むこと。事前、もしくは授業中に伝達する、持ち物を忘れないようにすること。 演習にふさわしい服装・身だしなみで臨むこと。 演習資料は各自でファイリングして整理すること。							
成績評価の方法	平常点(授業参加状況や受講態度など)	20%	教科書	「子どもの保健Ⅰ」 佐藤益子ほか(編) ななみ書房 「子どもの保健Ⅱ」 佐藤益子ほか(編) ななみ書房 「子どもの保健演習ノート」 小林美由紀 診断と治療社				
	提出物等	10%						
	定期試験	70%	参考資料	「子どもの保健 理論と実際」 同文書院				

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	乳児保育				担当教員	名和 孝浩	
全体目標	現代の日本で質と量の拡充が求められる乳児保育において、0～2歳児の保育における育ちの意味を考え、子どもの思いに寄り添いながら保育実践することができる。						
一般目標	著しい発達を遂げる3歳未満児のからだと心の発達について、月齢ごとの特徴を理解し、保育者としてどのようにかかわればよいかを理解する。						
到達目標	子どもの年齢による発達過程や様子について理解する。 子どもの行為の意味に気づき、それらを分析・判断し、実践に生かそうとすることができる。 子どもの発達に応じた生活や遊び、保護者の子育て支援について、保育技術を活用した援助ができる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション 乳児保育の理念と意義			事前学習	教科書第1講を読んでまとめる	
					事後学習	保育所保育指針における乳児保育についてまとめる	
	②	乳児保育における現状と課題			事前学習	教科書第2講を読んでまとめる	
					事後学習	乳児保育の現状と課題を文章化する	
	③	乳児と保育園の1日			事前学習	乳児の保育の流れを調べる	
					事後学習	特に着目する生活場面についてまとめる	
	④	乳児保育における子ども理解のあり方と援助			事前学習	乳児とかかわった経験のある場面について思い出し、記録する	
					事後学習	子どもを見るまなざしについて考える	
	⑤	6ヵ月未満の発達と保育内容			事前学習	教科書第6講についてまとめる	
					事後学習	6ヵ月未満児とのかかわりのポイントをまとめる	
	⑥	6ヵ月から1歳3ヵ月未満児の発達と保育内容			事前学習	教科書第7講についてまとめる	
					事後学習	6ヵ月から1歳3ヵ月未満児とのかかわりのポイントをまとめる	
	⑦	1歳3ヵ月から2歳未満児の発達と保育内容			事前学習	教科書第8講についてまとめる	
					事後学習	1歳3ヵ月から2歳未満児とのかかわりのポイントについてまとめる	
	⑧	2歳児の発達と保育内容			事前学習	教科書第9講についてまとめる	
					事後学習	2歳児とのかかわりのポイントについてまとめる	
⑨	乳児保育における保健活動			事前学習	保育における保健活動について調べる		
				事後学習	登園時や保育中の健康観察についてまとめる		
⑩	乳児保育における保護者との連携			事前学習	乳児保育における子育て支援について調べる		
				事後学習	連絡帳の書き方について要点をまとめる		
⑪	乳児保育の計画と記録と評価			事前学習	教科書第11講についてまとめる		
				事後学習	乳児の個別の指導計画を作成する		
⑫	乳児保育の環境づくり			事前学習	教科書第12講についてまとめる		
				事後学習	子どもの発達を促す環境構成とはどのようなものかまとめる		
⑬	乳児保育における遊びの展開(1) ～"そのもの"を楽しむ遊び～			事前学習	0～1歳児クラスの遊びと育ちの関連を調べる		
				事後学習	0～1歳児の遊びの捉え方と保育者の援助について考える		
⑭	乳児保育における遊びの展開(2) ～「見立て」と「つもり」の世界～			事前学習	2歳児クラスの遊びと育ちの関連を調べる		
				事後学習	2歳児の遊びの捉え方と保育者の援助について考える		
⑮	まとめ(試験)			事前学習	今まで学んだ内容をまとめる		
				事後学習	今後の乳児保育に求められるものと自己課題を明らかにする		
学習上の留意点	教科書や配布資料は熟読すること。 意見や話し合いを求められる場面では、積極的に参加すること。 講義終了時に毎回振り返りを行い、自己の学びと課題を明確にしていく。						
成績評価の方法	授業態度 50% 試験 50%				教科書	『基本保育シリーズ 乳児保育』 公益社団法人 児童育成協会	
					参考資料	『保育所保育指針』厚生労働省	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	社会的養護内容				担当教員	寺井 陽一	
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。						
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。						
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	① 自己紹介 社会的子育てを考える					事前学習	自己PRを考える
						事後学習	(教)P12～27を確認する
	② 自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場					事前学習	自己PRを考える
						事後学習	(教)P54～63を調べる
	③ 児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る					事前学習	児童養護施設を調べる
						事後学習	DVDを見た感想・意見を書く
	④ 虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る					事前学習	(教)P28～33を読む
						事後学習	DVDを見た感想・意見を書く
	⑤ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 名古屋市名東区中2男子暴行死事件の検証					事前学習	(教)P33～40を読む
						事後学習	中2男子暴行死事件を読んだ感想・意見を書く
	⑥ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証					事前学習	(教)P41～53を読む
						事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く
	⑦ 職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る					事前学習	(教)P75～78を読む
						事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く
	⑧ 施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解					事前学習	(教)P94～99を読む
					事後学習	(教)P100～107を読む	
⑨ 子どもの自立に向けての援助のあり方 リービングケアとアフターケアの基礎理解					事前学習	(教)P107～110を読む	
					事後学習	(教)P110～114を読む	
⑩ 問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118～122)					事前学習	問題行動の実際の例を考える	
					事後学習	問題行動の実際の対応策を考える	
⑪ 性と生についての取り組み 性の関するQ&A					事前学習	(教)P64～68を読む	
					事後学習	性に関するQ&Aの復習	
⑫ 愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり					事前学習	(教)P68～74を読む	
					事後学習	愛着障害についてまとめる	
⑬ 施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える					事前学習	(教)P68～74を読む	
					事後学習	自立支援計画を作成する	
⑭ 自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方					事前学習	実習の抱負を箇条書きにする	
					事後学習	実習の課題をまとめる	
⑮ 試験、まとめ					事前学習	テスト(小論文)を考える	
					事後学習	総復習	
学習上の留意点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること						
成績評価の方法	定期試験の結果	60%	教科書	『児童の社会的養護内容』 神戸賢次・喜多一憲編			
	小レポート	20%		参考資料			
	授業参加状況・授業態度	20%					

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名	保育実習Ⅰ（施設）				担当教員	川角 恭代	
全体目標	・施設での体験的な学びの中で入所児者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。 ・施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。 ・実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。						
一般目標	・入所児者の「生活の場」であることを念頭に、保育実習指導Ⅰ（施設）やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。						
到達目標	・机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。 ・入所児者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。						
授業のながれ	・実習の期間 後期の定期試験終了後から3月末まで（春休み）の期間に、8泊10日間実施。						
	・実習の内容 入所児者の生活支援を主とした宿泊実習を行う。 施設により、指導実習（部分）や宿直体験を行うこともある。						
	・事前訪問 12月中旬から順次開始。 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。						
	・実習施設巡回指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 教員と施設の実習担当者が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。						
	・事後訪問 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記載し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。						
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・入所児者の「生活の場」を念頭に実習に取り組む。 ・実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。 ・実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。						
成績評価の方法	・実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する ・最終的には保育実習Ⅰ（施設実習・第一回保育所実習）および保育実習指導Ⅰの授業を合わせて評価する				教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他（編）みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会（編）	
					参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）				担当教員	川角 恭代	
全体目標	・保育実習Ⅰ（施設）とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。						
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。						
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 保育実習の意義～実習の目的～				事前学習	教科書P.10～P.12 予習	
					事後学習	実習の目的の復習	
	② 保育実習の意義～実習の概要～				事前学習	教科書P.12～P.14 予習	
					事後学習	実習の概要の復習	
	③ 実習の内容				事前学習	教科書P.34～P.42 予習	
					事後学習	各指導、支援の意味や意図の復習	
	④ 実習課題の明確化				事前学習	教科書P.23～P.24 予習	
					事後学習	課題設定の整理	
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～				事前学習	人権、最善の利益の意味調べ	
					事後学習	子ども・利用者の最善の利益の復習	
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～				事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ	
					事後学習	施設での守秘義務の意味と重要性の復習	
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～				事前学習	教科書P.22～P.23、「朋」施設実習を考える 予習	
					事後学習	自らの課題と目標の整理	
	⑧ 施設実習とは				事前学習	教科書第5章、第6章該当部分 予習	
					事後学習	養護系、障害系の施設の復習	
⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解				事前学習	教科書P.14～P.18 予習		
				事後学習	実習施設について調べる		
⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について				事前学習	教科書P.26～P.28、マニュアルP.30～P.33 予習		
				事後学習	各実習グループでの打ち合わせ		
⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ				事前学習	「朋」施設実習を考える 予習		
				事後学習	「朋」を読んで感想をまとめる		
⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え				事前学習	教科書P.28～P.32 予習		
				事後学習	施設実習計画書の作成		
⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方				事前学習	教科書P.44～P.51 予習		
				事後学習	記録の書き方の整理及び復習		
⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～				事前学習	教科書P.120～P.124 予習		
				事後学習	実習に向けての目標及び課題確認		
⑮ 定期試験・講評				事前学習	これまでの学びの復習及び確認		
				事後学習	講評の内容の整理と把握		
学習上の留意点	・授業を通して、実習生(保育者)としての在るべき姿勢や態度に自ら気づき、身に付くように努力すること。 ・教科書・マニュアルを毎回持参し、授業で配付する資料は必ずファイルに綴じて保管すること。 ・日頃から社会福祉に関心を持ち、新聞や関連書籍を読み理解を深めること。 ・提出物は期限を厳守し、発表する時は責任を持って行うこと。						
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30% 上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会(編)	
					参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」	

保 育 科

第 2 部 3 年 生

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	音楽Ⅱ(器楽)				担当教員	花井 英一	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項について、鍵盤楽器の演習を通して、知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	1年および2年の音楽(器楽)の演奏技術にさらに高い技能を習得し、幼児の発達過程や音楽を理解し、より音楽的な演奏力・表現力の向上を目標とする。						
到達目標	1. 各曲の適切な伴奏法(幼児の感性や表現する力、創造性を育む伴奏)を常に考察し、習得する。 2. レパートリーを一曲でも多くし、表現豊かに曲を弾きとおす伴奏法を習得する。 3. いろいろな曲の演習を通して、教材の活用法や演奏技術を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	シラバスの説明・器楽記録表配布 個人指導(アカペラで表情豊かに歌うことの重要性)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と指摘箇所の確認	
	②	個人指導(5月のうた(実習) めだかのがっこうなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	③	個人指導(生活のうた さよならのうたなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	④	個人指導(うたあそび にぎってひらいてなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑤	個人指導(6月のうた はをみがきましょうなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑥	個人指導(わらべうたーかごめかごめなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑦	個人指導(英語のうた キラキラ星など)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑧	個人指導(9月のうた(実習) こおろぎなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	指摘箇所の確認と練習	
	⑨	個人指導(10月のうた きくのはななど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑩	個人指導(ダンパーペダル おはながわらったなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑪	個人指導(季外のうた いぬのおまわりさんなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑫	個人指導(いろいろな伴奏 とんでったバナナなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑬	個人指導(行事のうた そつぎょうしきのうたなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	指摘箇所の確認と練習		
⑭	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出			事前学習	器楽記録票の点検／試験曲の練習		
				事後学習	試験曲の練習/指摘箇所の確認・練習		
⑮	実技試験・講評			事前学習	試験曲の練習		
				事後学習	講評の内容の把握		
学習上の留意点	・各自選択曲をしっかり練習して授業に臨むこと。教員の助言したポイントに気をつけて、家での毎日の練習の他、学校でもわずかな時間を大切に練習すること。 ・幼児のことを常に意識した導入(言葉がけや曲のイメージ)・表情豊かな弾き歌いで曲を弾きとおすことができるように練習する。教員の助言したポイントに気をつけて練習をすること。						
成績評価の方法	実技試験 100% ※試験曲は、授業時合格曲のレベルと合計点による。(器楽記録票の提出必須) ※平常点(授業内課題(適宜)や授業時発表、授業参加状況、受講態度など)を勘案する。				教科書	「幼児のうたとあそび」 曲目一覧表 器楽記録表 プリント教材	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	体育Ⅱ			担当教員	伊藤 昭治		
全体目標	みんな(集団)で遊ぶことの楽しさを味わい、運営する、工夫する、見守る、支援(援助)する、という幼児教育者としての視点を養う。						
一般目標	授業での特に実技種目(ゲーム)の運営方法等を習得すること。						
到達目標	1.教科書の指定されたページの熟読とプリント教材を良く理解し、自らを向上させる。 2.実技種目(ゲーム)の内容を理解すること。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション・ゲームの楽しさを味わう(アイスブレイク)			事前学習	シラバスを読む	
					事後学習	プリント教材の確認	
	②	集団ゲームとは			事前学習	教科書p34～を熟読してくる	
					事後学習	講義内容の確認	
	③	伝達技術(どうしたら伝わるのか)(いろいろなゲームから)			事前学習	プリント教材の熟読	
					事後学習	講義内容の確認	
	④	集団でのゲーム運営を考える(風船を使って)			事前学習	プリント教材の熟読	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑤	集団ゲームのねらい			事前学習	教科書p54～を熟読してくる	
					事後学習	講義内容の確認	
	⑥	集団ゲーム(カードゲーム)			事前学習	プリント教材の理解	
					事後学習	プリント教材の確認	
	⑦	ボールゲーム			事前学習	ボールを使ったゲームの調査	
					事後学習	体験内容と比べてみる	
	⑧	集団ゲームのねらい指導法			事前学習	教科書p104～を読んでもくる	
					事後学習	講義内容の確認	
⑨	集団把握の技術			事前学習	プリント教材の熟読		
				事後学習	講義内容の確認		
⑩	野外での指導法			事前学習	野外ゲームの種類を調べる		
				事後学習	体験内容の確認		
⑪	協力・役割分担を理解する遊び(ゲーム)			事前学習	プリントでの確認		
				事後学習	プリントでのまとめ		
⑫	身近なものを工夫する(ペットボトルを使って)			事前学習	ペットボトルの工夫を考えてくる		
				事後学習	体験内容のまとめ		
⑬	発想の転換で新しいゲームを創作する			事前学習	ゲームを一つ創作してくる		
				事後学習	体験内容のまとめ		
⑭	効果的指導をするために			事前学習	どうしたらよいかを考えてくる		
				事後学習	授業内容のまとめ		
⑮	試験・講評			事前学習	各自の演目の確認・準備		
				事後学習	講評内容の把握		
学習上の留意点	・幼児教育者としてふさわしい心構え・態度・行動を考えて受講すること。 ・楽しくするための工夫を考えながら、自ら動くことの必要性を習得すること。 ※授業は、実技を中心に行うので、パンツは(運動着)を着用又は準備のこと 運動靴(スニーカー)を履くこと						
成績評価の方法	・定期試験 60% ・授業参加状況 20% ・授業態度 20%			教科書	「新訂 のびのび遊べる子に」 プリント配布教材		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名	表現(音楽)指導法Ⅱ				担当教員	花井 英一	
全体目標	子どもの感性や創造性を豊かにする音楽表現活動を、受容し、意欲を十分発揮させ、感動を共有することが重要であり、音楽に親しみ楽しむ環境を展開していくことが大切である。鍵盤楽器などの演習を通して知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	幼児のうたを中心に幼児の発達過程や幼児音楽を理解していろいろな演奏する知識や技術、表現力を習得する。						
到達目標	1. 音域を考慮した移調奏や、簡易伴奏へのアレンジなどの知識と演奏技術を身につける。 2. レパートリーを多くし、表現豊かに曲を弾きとおす伴奏法を習得する。 3. いろいろな曲の演習を通して、教材の活用法や演奏技術を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	シラバスの説明・ハ長調、ニ長調の主要三和音とコードネーム(むすんでひらいて)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	②	ヘ長調、ト長調の主要三和音とコードネーム(むすんでひらいて)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	③	移調 むすんでひらいて(ハ長調、ニ長調、ヘ長調、ト長調)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	④	三和音とコードネームの解説(おかえりのうた)(長三和音、短三和音、減三和音、増三和音)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	⑤	三和音のコードネーム問題(練習問題 おかえりのうたなど)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	⑥	四和音とコードネームの解説(おはようのうた)(属七和音、長七和音、短七和音、減七和音)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	⑦	幼児のうたのピアノ伴奏譜のコード調べ(とんぼのめがね ハ長調)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
	⑧	幼児のうたのピアノ伴奏譜のコード調べ(めだかのがっこう ニ長調)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習	
					事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習	
⑨	コード伴奏での発表(ハ長調、ニ長調)(とんぼのめがね、めだかのがっこう)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習		
⑩	ハ長調主要三和音によるコード付けと演奏(森のくまさん もうすぐ一年生)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習		
⑪	ハ長調主要三和音によるコード付けと演奏(アイアイ)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習		
⑫	ト長調主要三和音によるコード付けと演奏(ジングルベル いちねんせいになったら)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習		
⑬	ヘ長調主要三和音によるコード付けと演奏(おはようのうた ハッピーバースデー)			事前学習	曲の譜読みと弾き歌い練習		
				事後学習	説明内容の把握と復習・鍵盤での練習		
⑭	ニ長調主要三和音によるコード付けと演奏(もみじ)器楽記録表の提出			事前学習	器楽記録票の点検		
				事後学習	定期試験範囲の復習		
⑮	定期試験・講評			事前学習	定期試験範囲の学習		
				事後学習	講評の内容の把握		
学習上の留意点	・毎回の授業内容は、前回の理解が必須です。必ず復習と鍵盤での確認と練習をしてください。 ・「幼児のうたとあそび」(弾き歌い)の各自選択曲を練習して授業に臨むこと。(自分でコードネームを記入した楽譜であればコード伴奏でもよい)						
成績評価の方法	定期試験 80%:平常点 20% ※平常点(授業内課題・小テスト(適宜)や器楽記録票(提出必須)、授業時発表、授業参加状況、受講態度など)				教科書	「幼児のうたとあそび」 曲目一覧表 器楽記録表 プリント教材	
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	社会福祉				担当教員	葛谷 潔昭	
全体目標	・「保育」の側から考える「社会福祉」と、「社会福祉」の一つとしての「保育」の両側面から、社会福祉とは何か、保育の社会的意義とは何か、保育者として求められる倫理・専門性、社会福祉実線とは何かについて学び深めていく						
一般目標	・社会福祉の概念と定義、それを必要とする社会的背景、法的根拠について学ぶ ・社会福祉制度、社会福祉実践について理解を深める。						
到達目標	・社会福祉について幅広く学び、子どもたちを取り巻く社会の問題やそれに対応する社会福祉制度、社会福祉実践について理解を深める。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	社会福祉の理念と概念…基本的人権、社会福祉と保育と養護 現代社会と社会福祉(1)…少子高齢化・家庭や地域社会の変容			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	②	現代社会と社会福祉(2)…障害者差別・虐待、高齢者虐待、 児童虐待、ライフスタイルの変化・貧困と格差問題			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	③	社会福祉の基盤と体系…法律の体系と援助(相談援助、 ケースワーク、ケアマネジメント、グループワーク等)の体系			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	④	子どもの貧困等の影響と背景…引きこもり、不登校、いじめ等 子ども・家庭の福祉(1)…子ども・子育て支援に関する法律			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑤	子ども・家庭の福祉(2)…地域子育て支援や各種手当制度 児童福祉施設・事業と援助の実際、家庭と保護者の支援			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑥	障害児・者の福祉(1)…「しょうがい」の概念と捉え方 障害の具体例と障害児者福祉の法体系			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑦	障害児・者の福祉(2)…障害福祉・保健医療サービス・年金 障害者の権利擁護、障害児者の援助の実際			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑧	高齢者の福祉(1)…高齢者の理解(概念と病理と保健) 介護保険法および老人福祉法、その他の制度			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑨	高齢者の福祉(2)…高齢者保健医療福祉サービスと年金 高齢者の介護と権利擁護の実際			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑩	低所得者福祉…生活保護制度、 生活困窮者自立支援法と援助の実際			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑪	地域福祉…地域福祉の実際と街づくり、相談援助体制 地域包括ケア、ソーシャルインクルージョン等の具現化			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑫	司法福祉等…更生保護制度、累犯障害者支援、 社会復帰支援、若者支援等			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑬	体験授業…障害児疑似体験(主に発達障害) 発達障害の援助の実際と、ペアレントトレーニング			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑭	その他の社会保障と社会福祉…雇用保険と労災保険制度等 利用者保護に関する仕組み…第三者評価、苦情解決等			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
	⑮	試験・まとめ・講評			事前学習 事後学習	教科書の該当部分の通し読み 授業の資料・教科書の復習	
学習上の留意点	・教科書を毎回持参すること。 ・適宜、レポート課題や事例検討(グループワーク等)、体験等を授業に取り入れるので積極的に参加すること。						
成績評価の方法	受講態度…40% 課題の提出状況、内容…30% 最終試験…30%				教科書	『図解で学ぶ保育 社会福祉』 萌文書林 『[図解]超少子高齢・無縁社会と地域福祉』 学文社	
	上記の通り評価する。				参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	相談援助				担当教員	横井 直子	
全体目標	相談援助技術を学び、課題を抱えた対象者への支援の質の向上を目指す。						
一般目標	ソーシャルワークを体系的に学ぶ。						
到達目標	ソーシャルワークの方法や技術について具体的に学ぶことで、家族支援への理解を深める。 児童個々に応じた支援方法を考えるための知識を学ぶ。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 相談援助の基本				事前学習 事後学習	コミュニケーションとは何か考える 自分について考える(自己覚知)	
	② 相談援助とソーシャルワーク (定義・原則)				事前学習 事後学習	社会福祉の歴史を予習 ソーシャルワークの意義について復習	
	③ ソーシャルワークの展開 (援助技術の体系)				事前学習 事後学習	前回学習した歴史の復習 ケースワークの展開についての復習	
	④ 個別援助・集団援助とは				事前学習 事後学習	話を聞く態度とは何かを考える。 演習をした感想をまとめる。	
	⑤ 相談援助の方法・技術 (クライアント中心理論アプローチ他)				事前学習 事後学習	受容について復習 演習をした感想をまとめる。	
	⑥ 相談援助の方法・技術 (行動理論・認知理論的アプローチ他)				事前学習 事後学習	自分が抱きやすい感情は何か考える。 演習をした感想をまとめる。	
	⑦ 援助関係形成のための技術、記録の技法				事前学習 事後学習	記録の書き方 態度から受ける心理的影響について復習	
	⑧ 中間学習確認 (レポートまたは簡易テスト)				事前学習 事後学習	7回までの内容確認 理解不足の項目の復習	
	⑨ ソーシャルワークと援助方法 (個別相談)				事前学習 事後学習	ケースワークの原則についての復習 アセスメントについて復習	
	⑩ ソーシャルワークと援助方法 (グループワーク)				事前学習 事後学習	グループワークの原則についての復習 事例のまとめ	
	⑪ ソーシャルワークと援助方法 (SST、PT)				事前学習 事後学習	行動理論・認知理論の復習 気になる子どもの行動分類を試みる	
	⑫ ソーシャルワークと援助方法 (地域福祉、ネットワーク)				事前学習 事後学習	ネットワークの定義の復習 保育所における地域福祉について考える	
	⑬ 事例分析・症例検討				事前学習 事後学習	アセスメントの復習 事例分析・症例検討のポイントの復習	
	⑭ 保育士と相談援助				事前学習 事後学習	13回までの内容を振り返る 子育て支援における相談についてまとめる	
	⑮ 試験とまとめ				事前学習 事後学習	重要事項について説明できるよう整理する。 理解不足箇所の復習	
学習上の留意点	理論と実践を体験的に学ぶため講義と演習を取り混ぜながら授業展開します。 他者を理解するためには多様性を持つことが大切です。 他者の意見や視点も柔軟に受け入れる姿勢で臨んでください。						
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%				教科書	なし ※毎回資料を担当教員が準備します。	
					参考資料	『事例で学ぶ社会的養護児童のアセスメント』 増沢高 明石書店 『保育者のための相談援助』 小林育子 萌文書林	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	児童家庭福祉			担当教員	川角 恭代		
全体目標	・児童及び家庭の生活実態及びそれらを取り巻く社会の状況を学び、福祉ニーズ、福祉サービスについて理解を深める。 ・児童の権利を擁護する視点を確かなものとする。						
一般目標	・児童家庭福祉に関する制度や法律の成り立ちを社会状況と照らし合わせながら学ぶと共に、体系的に児童家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。						
到達目標	・児童と家庭に関する福祉サービスの実践等の現状と課題について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 児童家庭福祉の理念と概念				事前学習	教科書P.2～P.10 予習	
					事後学習	理念と概念復習	
	② 児童家庭福祉の歴史的変遷				事前学習	教科書P.11～P.15 予習	
					事後学習	歴史的変遷の復習	
	③ 現代社会と児童家庭福祉				事前学習	教科書P.16～P.24 予習	
					事後学習	現代社会を取り巻く状況の復習	
	④ 児童家庭福祉の一分野としての保育				事前学習	教科書P.34～P.39 予習	
					事後学習	保育とソーシャルワークの復習	
	⑤ 児童の人権擁護と児童家庭福祉				事前学習	教科書P.39～P.46 予習	
					事後学習	人権擁護の復習	
	⑥ 児童家庭福祉の制度と法体系				事前学習	教科書P.48～P.54 予習	
					事後学習	制度と法体系の復習	
	⑦ 児童家庭福祉行財政と実施機関				事前学習	教科書P.55～P.64 予習	
					事後学習	行財政と実施機関の復習	
	⑧ 児童福祉施設等				事前学習	教科書P.65～P.81 予習	
					事後学習	児童福祉施設・専門職の復習	
⑨ 少子化と子育て支援サービス				事前学習	教科書P.84～P.91 予習		
				事後学習	子育て支援サービスの復習		
⑩ 母子保健と児童の健全育成				事前学習	教科書P.92～P.99 予習		
				事後学習	母子保健と児童の健全育成のしくみの復習		
⑪ 多様な保育へのニーズ				事前学習	教科書P.100～P.112 予習		
				事後学習	ニーズへの背景の復習		
⑫ 児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス				事前学習	教科書P.113～P.121 予習		
				事後学習	児童虐待・DVにおける現状・予防の復習		
⑬ 障がいのある子どもと家庭への支援				事前学習	教科書P.129～P.137 予習		
				事後学習	障がいの分類及び支援の復習		
⑭ 関係諸機関との連携とネットワーク				事前学習	教科書P.158～P.163 予習		
				事後学習	ネットワークの必要性・構造の復習		
⑮ 定期試験・講評				事前学習	これまでの学びの復習及び確認		
				事後学習	講評の内容の整理と把握		
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴じること。 ・口頭による説明が中心となるため、自分で記載したり線を引いたりすること。 ・保育者を志す者として、積極的な姿勢で授業に取り組むこと。						
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30%			教科書	「改訂 子ども家庭福祉」 佐々木政人・澁谷昌史・加藤洋子(編著) 光生館		
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。			参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		保育原理			担当教員	林 幸		
全体目標	今日の子どもの置かれた状況を知り、保育の意義について、乳幼児期の特性などを学び、保育観や子ども観を養い、視野を広げていくことを目的とする。							
一般目標	・さまざまな子どもに目を向け、「保育」を考える基本的な視点を学び理解する。 ・幼稚園、保育所の歴史を踏まえ、「保育」の役割、現状と課題を学び、考え、これからの保育のあり方を考えられるようになる。							
到達目標	・保育の概念、実態の概要をつかみ、「保育とは何か」を明確に述べる。 ・保育の全体構造を理解し、子どもの理解や保育の方法を学ぶ。 ・保育者の役割について考える。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① 保育とは何か				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	復習		
	② 子どもを取り巻く環境の変化				事前学習	10年前と今の環境について考える		
					事後学習	復習		
	③ 保育の歴史に何を学ぶか				事前学習	保育所保育指針の改訂について知る		
					事後学習	復習		
	④ 子どもを理解するために				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	事例についてふり返る		
	⑤ 保育環境とは				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	4つの環境の考察を深める		
	⑥ 保育の内容				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	復習		
	⑦ 保育の方法・形態				事前学習	担当制の保育について知る		
					事後学習	復習		
	⑧ 保育の計画				事前学習	教科書下読み		
				事後学習	PDCAサイクルについてふり返る			
⑨ 保育の評価				事前学習	実習中の自分の保育の評価を考えてみる			
				事後学習	復習			
⑩ 家庭援助と子育て支援				事前学習	子育て支援とは			
				事後学習	復習			
⑪ 家庭・小学校との連携				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	復習			
⑫ 子どもの安全、虐待、障がい				事前学習	「安全教育」について知る			
				事後学習	復習			
⑬ 保育者の専門性				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	保育者の役割について考える			
⑭ 保育の現状と課題				事前学習	課題をみつけておく			
				事後学習	復習			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	試験勉強			
				事後学習	全体的な復習・まとめ			
学習上の留意点	・保育者を目指す者として、自覚を持って受講すること。 ・子どもを取り巻く環境に興味関心を向けるように心がけること。							
成績評価の方法	・授業参加状況、受講態度 25% ・発表 25% ・試験 50%			教科書	『最新保育原理 －わかりやすく保育の本質に迫る－』 保育出版社			
				参考資料	保育所保育指針			

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		保育原理Ⅱ			担当教員	寺部 直子		
全体目標	・「保育とは何か」「保育者に求められる専門性とは何か」について自分なりの考えを持てるようになる。							
一般目標	・諸外国の保育制度の成立の過程について、その原点を中心に学び、日本の保育の現状と課題を理解する。							
到達目標	・コメニウスの提唱した「すべての人にすべてのことを『わずかの労力で愉快地に着実に』学ばせる為の普遍的な教授の技術」が、なぜ必要なのかを理解している。 ・「子どもの人権を尊重した」保育の方法、制度はどうあるべきかについて自分なりの考えを持っている。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	保育原理Ⅰで学んだ事の復習 (それぞれが学んだことを発表し交流する)			事前学習 保育原理Ⅰで学んだ事をまとめる。 事後学習 学習を振り返りレポートにまとめる。			
	②	保育制度成立以前の西欧と日本の子どもの生活			事前学習 指定の絵を見てメモしてくる。 事後学習 小テストに備えて復習			
	③	西欧の保育思想1 コメニウス			事前学習 (教)P71～73を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	④	西洋の保育思想2(1)ルソー ルソーの思想と主な著作			事前学習 『エミール』の指定箇所を読む 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑤	西洋の保育思想2(2)ルソー 『エミール』にみる教育の原理と方法			事前学習 『エミール』の指定箇所を読む 事後学習 『エミール』レポート作成			
	⑥	諸外国の保育制度の成り立ちと現状1 フランス・オーベルランの編み物学校から現在まで			事前学習 (教)P74～75を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑦	諸外国の保育制度の成り立ちと現状2(1) イギリス・ロバート・オーエンの幼児学校			事前学習 (教)P75～77を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑧	諸外国の保育制度の成り立ちと現状2(2) イギリス・幼児学校の普及とウィルダー・スピン			事前学習 (教)P77を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑨	諸外国の保育制度の成り立ちと現状3(1) ドイツ・幼稚園の成立			事前学習 (教)P77～80を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑩	諸外国の保育制度の成り立ちと現状3(2) ドイツ・フレーベルの恩物			事前学習 (教)P77～80を読んでくる＊ 事後学習 恩物についてのレポート作成			
	⑪	諸外国の保育制度の成り立ちと現状4 アメリカ・幼稚園 の導入・新教育運動の展開と日本への影響			事前学習 (教)P92～93を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑫	諸外国・日本の特色ある保育 (モンテッソーリ・メソッド)			事前学習 (教)P81～83を読んでくる＊ 事後学習 小テストに備えて復習			
	⑬	諸外国・日本の特色ある保育 (レッジョ・エミリア・アプローチ)			事前学習 (教)P176～177を読んでくる＊ 事後学習 この方法の長所と欠点を文章にまとめる			
	⑭	日本の乳幼児教育の課題			事前学習 疑問点を箇条書きにしてくる 事後学習 わかったことを箇条書きにする			
	⑮	試験・まとめ			事前学習 試験に備えて総復習してくる 事後学習 今後の課題を明らかにする			
学習上の留意点	＊教科書を読んでもときは、①「いつ」②「どこで」③「誰が(関係する人物の名前、職業、著作)」④「何を(その人物が創った施設の名前、特徴など)」⑤「なぜ、何のために(その施設を創った目的・理由)」⑥「どのように」(保育の特色など)を、メモしながら読むこと。小テストのための復習も上記と同様のポイントを勉強してくること。							
成績評価の方法	講義中に課したレポート20% 講義への取り組み(参加姿勢・態度)20% 最終試験(小テストの問題の総まとめ・論述問題は講義中のレポートから出題する)60%				教科書	『実践を創造する保育原理』(みらい)		
					参考資料	ルソー『エミール(上)』(岩波文庫) 近藤八重子・野中芳子『フレーベルの恩物』(柳城女子短期大学研究紀要第4号)		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		発達心理学Ⅱ				担当教員	菅田 達也・伊藤 直	
全体目標	人生初期の発達についての理解を深めることを目的とする。主として生後6年間における子どもの心理的・身体的・行動の発達、そして関連する諸問題について考え、保育の実践に対する基礎を養うことをねらいとする。							
一般目標	子どもの発達を理解するための、視点や方法を学び、発達の連続性について理解する。また、あそびを通じた発達過程についての理解を深める。							
到達目標	1. 子どもの心身の発達と保育実践について理解を深める。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解する。 3. 保育における発達援助について学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション 発達とは				事前学習	シラバスを確認する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	②	子どもの発達を理解する				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	③	子どもの発達をとらえるための方法を知る				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	④	生活やあそびを通じた子どもの学び				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑤	子どもの認識を育てる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑥	子どもの感情を育てる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑦	子どもの自己を育てる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑧	子どもと保育者の関係を育てる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する		
⑨	子ども同士の関係を育てる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑩	保育者間の協働を通して保育をつくる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑪	関係機関と連携して子どもを育てる: 小学校への接続				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑫	障害のある子どもを理解する				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑬	「気になる」子どもを理解する				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑭	保護者と連携して保育を進める				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑮	まとめと試験				事前学習	教科書や課題を振り返る		
					事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについてもノートに記述することを心がけること。							
成績評価の方法	平常点(授業参加状況・受講態度など)				10%	教科書	「保育の心理学ワークブック」 本郷一夫(編) 建帛社	
	授業内課題(適宜授業内に実施)				10%			
	定期試験				80%	参考資料	配布プリント	

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	通年	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名	子どもの食と栄養				担当教員	加藤 志都	
全体目標	子供の栄養と食生活は、心身の発達に重要である。日々の食事の目的と意義を考え、食の知識や実践力を身につけることを目標とする。また、子供の食生活を学ぶことを通して、保育者としても食に関しての知識を身につけ、自分自身の食生活も見直す。						
一般目標	食を学ぶにあたり、生涯においての食に関する特徴や問題点を意識し、各時期に応じた正しい食の知識を身につける。						
到達目標	子供の個々の食生活の問題点を探り、個々に合わせた食事指導等を行えることを目指す。自分自身の食生活を管理した上で、子供や保護者に対しての食育を行える保育士を目指す。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	オリエンテーション、食を考える				事前／事後 シラバスの確認／復習	
	②	子どもの食生活の特徴と現状				事前／事後 教p2～10予習／復習	
	③	栄養素の役割、日本人の食事摂取基準				事前／事後 教p12～15予習／復習	
	④	栄養に関する基本的知識(炭水化物)				事前／事後 教p16～21予習／復習	
	⑤	栄養に関する基本的知識(脂質)				事前／事後 教p22～27予習／復習	
	⑥	栄養に関する基本的知識(たんぱく質)				事前／事後 教p27～33予習／復習	
	⑦	栄養に関する基本的知識(ミネラル)				事前／事後 教p34～38予習／復習	
	⑧	栄養に関する基本的知識(ビタミン)				事前／事後 教p38～43予習／復習	
	⑨	水分の機能、栄養素の消化、吸収、代謝				事前／事後 教p43～50予習／復習	
	⑩	献立の作成、食品群				事前／事後 教p51～59予習／復習	
	⑪	食事バランスガイドの活用				事前／事後 前回の見直し／復習	
	⑫	献立作成(演習)				事前／事後 4群点数法の復習／復習	
	⑬	調理の基本、衛生管理、食品の表示制度				事前／事後 教p58～64予習／復習	
	⑭	子どもの発育・発達の基本				事前／事後 教p66～76予習／復習	
	⑮	前期定期試験、講評				事前／事後 試験出題範囲の勉強／総復習	
	⑯	胎児期(妊娠期)の食生活				事前／事後 教p77～87予習／復習	
	⑰	乳児期の食生活(母乳栄養)				事前／事後 教p88～98予習／復習	
	⑱	乳児期の食生活(人工乳栄養)				事前／事後 教p99～109予習／復習	
	⑲	調乳実習(演習)				事前／事後 教p99～110予習／復習	
	⑳	離乳の必要性と進め方				事前／事後 教p99～111予習／復習	
	㉑	幼児期の特徴と食生活				事前／事後 教p122～130予習／復習	
	㉒	幼児期の食生活と問題点				事前／事後 教p130～137予習／復習	
	㉓	幼児期の間食(演習)				事前／事後 幼児期の間食復習／間食の意義を考える	
	㉔	学童期の食生活と特徴・学校給食				事前／事後 教p138～153予習／復習	
	㉕	生涯発達と食生活 思春期・成人期・老年期				事前／事後 教p154～166予習／復習	
	㉖	食育の基本と内容 保育所・学校における食育				事前／事後 教p168～180予習／復習	
	㉗	家庭や児童福祉施設における食事と栄養				事前／事後 教p182～204予習／復習	
	㉘	特別な配慮を要する子どもの食と栄養				事前／事後 教p206～230予習／復習	
	㉙	食育の実践(演習)				事前／事後 食育に関わる内容の復習／食育を考える	
	㉚	後期定期試験、講評				事前／事後 試験出題範囲の勉強／総復習	
学習上の留意点	子供や保護者に対しての食育を考え、適切な食育を行えるようにすることを意識する。						
成績評価の方法	定期試験 70％ 提出物 30％ 平常点（授業参加状況、受講態度など）				教科書	『最新 子どもの食と栄養』 学建書院	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	家庭支援論				担当教員	榊原 とよ	
全体目標	現代の家族の社会的状況や子育てについての適切な支援のあり方を理解し、地域や関係機関と連携し、子どものための家庭支援の充実について理解する。						
一般目標	①家庭の意義とその機能について理解する。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解する。 ③子育て家庭の支援体制について理解する。 ④子育て家庭への支援の展開と関係機関との連携について理解する。						
到達目標	①家庭の意義とその機能について理解できる。 ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる。 ③子育て家庭への支援体制について理解する。 ④他機関等の連携について理解できる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習	※指針:保育所保育指針	
	① 家庭の意義と役割				事前学習 事後学習	指針「保護者に対する支援」を読む 保育士が家庭支援を学ぶ理由をまとめる	
	② 地域社会の変容と子育て家庭				事前学習 事後学習	子育て家庭を取り巻く社会の変容について予習 演習課題を行い授業を振り返る	
	③ 家庭支援の必要性				事前学習 事後学習	家庭支援の必要性について予習 演習課題を行い授業を振り返る	
	④ 夫婦・親子関係の理解と支援(1) いろいろな夫婦、親子、家族形態				事前学習 事後学習	現代の家族形態について予習 家族形態について振り返る	
	⑤ 夫婦・親子関係の理解と支援(2) さまざまな課程への支援				事前学習 事後学習	指針の該当部分を予習する 外国人の子どもを受け入れる保育所の対応についてまとめる	
	⑥ 親の理解と支援(1) 親とは何か				事前学習 事後学習	プリント資料に目を通し現代の親の支援について予習 育児性を高める保護者支援プログラムを振り返る	
	⑦ 親の理解と支援(2) 親の不安や悩み				事前学習 事後学習	現代の親を取り巻く環境について予習 現代の親の不安や悩みについてまとめる	
	⑧ 子育て家庭の就労と支援 女性の働き方と子育てとの両立				事前学習 事後学習	指針の該当部分を予習する 子育て家庭の現状についてまとめる	
	⑨ 男女共同参画社会とワークライフバランス				事前学習 事後学習	男女共同参画社会について予習する どのような職場環境が求められているかまとめる	
	⑩ 保育所入所児童の家庭への支援				事前学習 事後学習	指針「子育て支援」を予習 演習課題を行い授業を振り返る	
	⑪ 地域の子育て家庭への支援				事前学習 事後学習	指針「地域の保護者に対する子育て支援」を予習 演習課題を行い授業を振り返る	
	⑫ 子育て支援施策とサービス(1) 次世代育成支援施策				事前学習 事後学習	子育て支援施策について予習 子育て支援に関する施策の変遷について理解しまとめる	
	⑬ 子育て支援施策とサービス(2) 子育て支援サービスの概要				事前学習 事後学習	プリント資料に目を通し社会的支援について予習 地域子ども子育て13事業について授業を振り返る	
	⑭ 虐待と家庭支援 児童虐待の法律と現状				事前学習 事後学習	児童虐待の現状について予習 保育現場においてどのように対応すればよいかまとめる	
	⑮ 試験・まとめ				事前学習 事後学習	配布資料また復習で提示した学習内容を見直す 保護者へどのような支援ができるか振り返る	
学習上の留意点	・日頃から子どもを取り巻く社会の動きに関心をもち、子育て家庭とのつながりを考え、自主学習をするなど意欲的な授業態度を望む。 ・授業中は私語、私事を慎むこと。						
成績評価の方法	平常点(受講態度)	15%	教科書	なし プリント資料を配布する			
	提出物	15%		参考資料	保育所保育指針 『保育と家庭支援』上田衛編集、みらい社 『家庭支援』新保幸男、児童育成協会		
	定期試験	70%	以上を総合的に評価する				

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義・ <u>演習</u> ・実習	単位数	2単位
科目名		乳児保育Ⅱ				担当教員	林 幸	
全体目標	社会の変化から、保育所や認定子ども園に求められる期待の大きさと理解し、乳児一人ひとりを大切にできる保育観を育む。							
一般目標	・乳児の発達を理解し、人としてひとりだちできる過程を学ぶ。 ・乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくために「乳児保育」の学びを深める。							
到達目標	・乳児の育つみちすじを理解し、保育者のかかわりや援助を学ぶ。 ・乳児が主体的に遊び生活する意味を考え、保育で大切にすることを学ぶ。 ・乳児保育のこれからについて考え、保育者に求められる力を身につける。							
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習			
	① 0. 1. 2歳児の発達の特徴と 保育の中で大切にしたいこと				事前学習	シラバス下読み		
					事後学習	身近にいる乳児に目を向ける		
	② 保育の中で乳児を見つめる視点				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	身近にいる乳児に目を向ける		
	③ 乳児保育で目指すもの				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	復習		
	④ 基本的生活の内容と方法 0. 1歳				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	復習		
	⑤ 基本的生活の内容と方法 2. 3歳				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	復習		
	⑥ あそびのあり方 特徴				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	絵本を読み、次回授業に持参する		
	⑦ あそびと環境				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	あそび文化について考える		
	⑧ 保育課程とは				事前学習	教科書下読み		
					事後学習	保育課程について		
⑨ 指導計画とは				事前学習	保育の記録、計画を実際に立ててみる			
				事後学習	指導計画立案			
⑩ 子どもの発達と乳児保育				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	復習			
⑪ 子どもも親もともに豊かに育つ				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	復習			
⑫ 保育士のあり方				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	どんな保育士になりたいか考える			
⑬ 乳児保育の歩み				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	新聞やニュースで子どもに関する話題に関心をもつ			
⑭ 乳児保育の現状と課題				事前学習	教科書下読み			
				事後学習	全体の復習			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	試験勉強			
				事後学習	全体的な復習・まとめ			
学習上の留意点	・日頃から身近な子どもや親に関心を持ち、観る力をつける。 ・新聞やニュースで、子どもに関する話題に関心を持ち、情報収集する。 ・授業での学びと実習などの保育場面とを結びつけ、総合的に学べるよう努める。							
成績評価の方法	・授業への意欲的な参加 25% ・グループディスカッション等の意欲・態度 25% ・試験 50%				教科書	『乳児の保育 新時代』 乳児保育研究会編 ひとなる書房		
					参考資料	保育所保育指針		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	通年	授業形態	講義	・演習・	実習	単位数	2単位	
科目名		障がい児保育				担当教員	加藤 久美子				
全体目標	・領域「障がい児保育」の歴史的変遷について学び、障がい児保育を支える理念への理解を深める。 ・集団生活を通して、共に育ち合える教育、保育を具体的に構想し、実現する方法を見につける。										
一般目標	・個々の子どもの発達過程、障がいの状態を把握し、他の子どもと共に成長するその内容と留意点を理解している。 ・様々な障がいについて理解し、環境構成、援助の方法について理解している。 ・家庭や関係機関との連携の必要性への理解及び支援のための適切な対応を理解している。										
到達目標	・障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが主体的、能動的であり、共に育ち合う意味を理解し、具体的に保育を構想し計画することができる。										
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習					
	①	科目「障がい児保育」要領、指針、教育保育要領から学ぶ				事前／事後	要領、指針を読んでおく／確認				
	②	障がいのある子どもの保育の考え方				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	③	障がい児保育の理念				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	④	障がい児保育の形態				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑤	障がい児保育の歩み				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑥	発達の理解				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑦	障がいのある子どもの発達と保育				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑧	障がいの原因的な理解				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑨	対象別にみた障がいの理解 (発達障がい・知的障がい)				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑩	対象別にみた障がいの理解 (自閉症スペクトラム)				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑪	対象別にみた障がいの理解 (注意欠如・多動症・学習障がい)				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑫	対象別にみた障がいの理解 (運動障がい・脳性マヒ)				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑬	対象別にみた障がいの理解 (視覚障がい・聴覚障がい)				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑭	対象別にみた障がいの理解 (コミュニケーション障がい・てんかん)				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑮	前期試験 ・まとめ				事前／事後	試験に向けての学習。前期の復習				
	⑯	障がいのある子どもの保育の方法				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑰	基本的生活習慣の援助				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	⑱	統合保育 実践から学ぶ				事前／事後	実践について考える／ポイントの確認				
	⑲	あそび・集団活動への援助				事前／事後	事例について考える／ポイントの確認				
	⑳	障がいのある子どもの保育計画				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	㉑	障がいのある子どもの保育の実践				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	㉒	障がいのある子どもの保育の評価				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	㉓	クラス活動・園行事への参加 実践から学ぶ				事前／事後	実践について考える／ポイントの確認				
	㉔	演習「学習障がい疑われる子どもへの対応」				事前／事後	事例について考える／ポイントの確認				
	㉕	小学校との連携				事前／事後	事例について考える／ポイントの確認				
	㉖	保護者への支援				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	㉗	きょうだいへの支援				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	㉘	障がいのある子どもの教育、保育関連施策				事前／事後	教科書下読み／ポイント確認				
	㉙	インクルーシブな保育とは 実践から学ぶ				事前／事後	実践について考える／ポイントの確認				
	㉚	後期試験 ・まとめ				事前／事後	試験に向けての学習。後期の復習				
学習上の留意点	・授業だけではなく、実際の子ども達と積極的に触れ合う機会を設け、その姿を通して学んだことの確認とさらなる学習への意欲につながるようにする。 ・教科書だけではなく、関連した文献、実践事例、多方面での記事等読む習慣をつけるようにする。										
成績評価の方法	前期定期試験 50％ 後期定期試験 50％ ※評価は、前期、後期の平均値とする。				教科書	みらい 『新・障害のある子どもの保育』					
					参考資料						

シラバス(授業計画)

部・学年	2部3年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	児童文化				担当教員	加藤 千夏	
全体目標	児童文化の伝承者として、子どもの心身の成長を担う意識を持って、児童文化財の技術を習得するとともに自らの喜びを仲間と共有していく。						
一般目標	伝承遊び・絵本・紙芝居・パネルシアター・パペットなど具体的な遊びや演出法を習得する。						
到達目標	①子どもの心身の成長、発達段階を理解する。 ②様々なシチュエーションでの遊びのレパートリーを習得して保育への展開につなげる。						
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習		
	① 児童文化とは何か(歴史と考証)				事前学習	P8～49までを読んでおく	
					事後学習	遊びの歴史について説明文章を作成する	
	② 子どもの発達と児童文化・児童文化財				事前学習	P50～56までを読んでおく	
					事後学習	0～6歳の各遊び例を説明文書作成する	
	③ 児童文化財の保育への展開				事前学習	P57～P166まで読んでおく	
					事後学習	伝承遊びを2つ説明文章作成する	
	④ 伝承遊びを中心とした制作・実技Ⅰ (お手玉・わらべ歌等)				事前学習	お手玉を準備、練習をする	
					事後学習	実技を確認・復習をする	
	⑤ 伝承遊びを中心とした制作・実技Ⅱ (あやとり・けん玉・折り紙等)				事前学習	あやとり・けん玉・折り紙を準備、練習をする	
					事後学習	実技を確認・復習をする	
	⑥ 演じ手としての保育への展開の実技				事前学習	P57～P166 まで読んでおく	
					事後学習	実技を確認・復習をする	
	⑦ 絵本の意義・選び方・読み聞かせ実技				事前学習	絵本を準備、練習をする	
					事後学習	実技を確認・復習をする	
	⑧ 紙芝居の意義・選び方・読み聞かせ実技				事前学習	紙芝居を準備、練習をする	
					事後学習	実技を確認・復習をする	
⑨ ペープサート・パネルシアターの魅力・実技				事前学習	ペープサート・パネルシアターを準備・練習をする		
				事後学習	実技を確認・復習をする		
⑩ パペットの魅力論				事前学習	P117～P123まで読んでおく		
				事後学習	実技を確認・復習をする		
⑪ パペットの制作Ⅰ(下書き・裁断)				事前学習	パペットの制作の材料を準備する		
				事後学習	パペットの制作を進めておく		
⑫ パペットの制作Ⅱ(貼り付け、仕上げ)				事前学習	パペットの制作の材料を準備する		
				事後学習	パペットの制作を仕上げる		
⑬ パペットを活用した保育での展開演習、発表				事前学習	パペット演習、発表の準備、練習をする		
				事後学習	指摘箇所の確認		
⑭ 身近な物を使った遊び道具の魅力・実技				事前学習	ごっこ遊びの道具作りの準備をする		
				事後学習	実技を確認・復習をする		
⑮ 筆記試験、まとめ				事前学習	遊びの保育展開についてまとめておく		
				事後学習	講評の内容の把握		
学習上の留意点	児童文化は心の栄養と捉え、感動と喜びを共有し合うことを重要視する。理論だけでなく自ら遊びを体感することを心がける。また、児童文化財の魅力と保育への展開を学び、実際に自ら自信をもって子どもたちに的確に伝えることができるように実技を習得する。児童文化の技量を子どもだけでなく多くの人々の笑顔につなげていきたい。						
成績評価の方法	作品制作30%、授業態度20%、試験50%				教科書	『演習 児童文化』小川清実他 萌文書林	
					参考資料	随時提示	

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	1単位
科目名		保育相談支援				担当教員	林 幸			
全体目標	保育において求められる相談援助のあり方について学び、実践力を育む。									
一般目標	・さまざまな保育相談支援があることを知り、その対応や支援方法を学ぶ。 ・子どもを取り巻く社会の中のさまざまな事象について学び、考える。									
到達目標	・保育相談支援の意義、原則、基本について理解する。 ・保育相談支援の方法と技術を理解する。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	① 保育相談支援の意義					事前学習	シラバス下読み			
						事後学習	アセスメントツールの理解			
	② 保育士の専門性を生かした支援					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	事例のふり返り			
	③ 子どもの最善の利益と福祉の重視					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	復習			
	④ 子どもの成長の喜びの共有					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	復習			
	⑤ 保護者の養育力の向上に資する支援					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	復習			
	⑥ 信頼関係を基本とした受容的かかわり					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	バイスティックの法則の理解			
	⑦ 地域資源の活用と関係機関との連携・協力					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	地域資源の理解			
	⑧ 保育にかかわる保護者への指導					事前学習	教科書下読み			
						事後学習	復習			
⑨ 保育相談支援の内容					事前学習	教科書下読み				
					事後学習	復習				
⑩ 保護者支援の方法と技術					事前学習	教科書下読み				
					事後学習	復習				
⑪ 保育相談支援の計画・記録・評価					事前学習	教科書下読み				
					事後学習	カンファレンスの理解				
⑫ 児童福祉施設における保育相談支援					事前学習	教科書下読み				
					事後学習	復習				
⑬ 虐待の類型と保護者支援					事前学習	教科書下読み				
					事後学習	虐待についての理解を深める				
⑭ 要保護児童の家庭に対する支援					事前学習	教科書下読み				
					事後学習	復習				
⑮ 試験・まとめ					事前学習	試験勉強				
					事後学習	全体的な復習・まとめ				
学習上の留意点	・子どもを取り巻く社会の動きに関心を持つ。 ・保育者として相談支援ができるように授業に積極的に参加する。 ・グループディスカッションに意欲的に参加し、自分の意見をまとめる力を育む。									
成績評価の方法	・ 授業への意欲的な参加 25% ・ グループディスカッション等への積極的な取り組み 25%				教科書	『保育相談支援』 吉田真理著 青鞆社				
	・ 試験 50%				参考資料	保育所保育指針				

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習		単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅰ				担当教員	小川 潤子 ・ 川合 真由美		
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育を理解する。 また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。								
一般目標	・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育の理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。								
到達目標	・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解できる。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。								
授業のながれ	[授 業 内 容]								
	・実習の期間 前期5月に2週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。（実習園の指示に従う） 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。								
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。								
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する					教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		
						参考資料	・実習関係書類		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅰ（保育所）			担当教員	小川 潤子 ・ 川合 真由美		
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育を理解する。 また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。							
一般目標	・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育の理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。							
到達目標	・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解できる。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。							
授業のながれ	[授 業 内 容]							
	・実習の期間 前期5月に2週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。（実習園の指示に従う） 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する				教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		
					参考資料	・実習関係書類		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅱ			担当教員	小川 潤子・川合 真由美		
全体目標	将来の保育士としての保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。 保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育と保育所の役割りを理解する。							
一般目標	・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育・役割を理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。							
到達目標	・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割りの理解できる。 ・保育に必要な基礎的な技術を身に付ける。 ・実習における指導案作成と観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。							
授業のながれ	[授 業 内 容]							
	8月～9月に2週間実施。 ・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。 ・事前訪問 夏休み前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 ・実習園と学校に必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する				教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		
					参考資料	・実習関係書類		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		保育実習指導Ⅱ			担当教員	小川 潤子・川合 真由美		
全体目標	保育所保育を理解し、保育実習に必要なことを学ぶ。また将来の保育士としての保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける							
一般目標	・保育実習の意義・目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。・実習事後指導を通して、自己評価をおこない自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。 ・保育者の専門性と職業倫理について理解する。							
到達目標	・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。 ・実習における観察・記録・計画及び評価を記入できる。 ・保育所における保育士の専門性と職業倫理を理解できる。							
授業のながれ	〔 授 業 内 容 〕							
	① 人権保育と子ども理解	事前学習 事後学習	子どもの人権について調べておく 配布プリントを読む					
	② 保護者支援	事前学習 事後学習	実習における保護者支援について調べておく 配布プリントを読む					
	③ 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	事前学習 事後学習	個人票・実習生の目標の記入 配布プリントを読む					
	④ 保育士の専門性と職業倫理	事前学習 事後学習	保育士倫理綱領を持参 配布プリントを読む					
	⑤ 保育実践研究	事前学習 事後学習	集団遊びの意義について調べる 様々な集団遊びを知る					
	⑥ 保育実践研究	事前学習 事後学習	子どもの発達について学んでおく 子ども理解を深める					
	⑦ 保育実践研究	事前学習 事後学習	保育教材作成の準備をしておく 作成後保育者の援助方法を考える					
	⑧ 実習記録の記入(1)指導計画 部分	事前学習 事後学習	指導案を考えておく 指導案を検討する					
	⑨ 実習記録の記入(2)指導計画 一日	事前学習 事後学習	指導案を考えておく 指導案を検討する					
	⑩ 実習記録の記入(3)指導計画 一日	事前学習 事後学習	指導案を考えておく 指導案を検討する					
	⑪ 実習の心構え	事前学習 事後学習	配布プリントを読む 実習の心構えを完成させる					
	⑫ 事後指導 (1)振り返りと経験交流	事前学習 事後学習	配布プリントを読む 経験の共通化を図る					
	⑬ 事後指導(2)指導計画と事例検討	事前学習 事後学習	自分の課題を記入しておく 発表をする					
	⑭ 事後指導 (3)他の評価方法の理解	事前学習 事後学習	他の評価を把握しておく 他の評価を理解する					
	⑮ 試験とまとめ	事前学習 事後学習	授業の復習をしておく 試験内容を振り返る					
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。							
成績評価の方法	・定期試験60% ・平常点(授業態度・提出物)40%				教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
					参考資料	「養護と教育が一体となった保育の言語化」 全国保育士会 配布資料		

シラバス(授業計画)

部・学年		2部3年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		保育実践演習				担当教員	鈴木 将也・須田 昂宏	
全体目標	養成段階である学びの場から、間もなく保育者となる学生が、自分を見つめ現状と課題を明確にする。							
一般目標	①課題の解決方法を把握し、課題に対して適切な方法を用いて、解決できる力を身につける。 ②保育や子どもに関する現状の分析や考察を行う。 ③保育者として学びを振り返り、習得した知識や技能を確認する。							
到達目標	乳幼児期の子どもたちを支える保育者として、今後の見通しや何をすべきかを明確にする。							
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習			
	①	保育実践演習の目的とは			事前学習	これまでの学修を振り返る		
					事後学習	この授業の目的を再確認する		
	②	研究テーマの探索			事前学習	これまでの実習での出来事を振り返る		
					事後学習	身近なものからテーマを探してみる		
	③	研究テーマの絞り込み			事前学習	テーマの候補をいくつか挙げておく		
					事後学習	テーマを仮定する		
	④	調査方法の検討			事前学習	調査方法について教科書で確認しておく		
					事後学習	自分自身のテーマにあった調査方法を考える		
	⑤	研究の中間報告			事前学習	研究テーマを決定する		
					事後学習	研究の構想を練る		
	⑥	発表準備について			事前学習	発表準備について教科書で確認する		
					事後学習	発表の準備に必要なものを確認する		
	⑦	発表資料の作成について ー先行研究の分析・検討ー			事前学習	先行研究を探す		
					事後学習	見つけた先行研究を分析する		
	⑧	発表資料の作成について ー発表資料の構成ー			事前学習	全体の構成を確認する		
					事後学習	発表の方法を考える		
⑨	発表資料の作成について ー発表資料の流れー			事前学習	発表資料を作成する			
				事後学習	小見出しや全体のまとまりを確認する			
⑩	発表資料の作成 ー発表の方法・注意点ー			事前学習	発表資料を見直す			
				事後学習	わかりやすい発表の仕方を考える			
⑪	発表資料の作成 ー発表資料の配布・発表当日の流れー			事前学習	発表について不明な点がないか確認する			
				事後学習	発表資料の印刷・発表の練習			
⑫	口頭発表 (1) 子どもを取り巻く環境に関するテーマ			事前学習	発表の練習			
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す。			
⑬	口頭発表 (2) 子どもの健康に関するテーマ			事前学習	発表の練習			
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す。			
⑭	口頭発表 (3) 子どもの遊びに関するテーマ			事前学習	発表の練習			
				事後学習	自分以外の人の発表を理解し、発表資料を読み返す。			
⑮	試験とまとめ			事前学習	発表を振り返る・教科書を読み復習する			
				事後学習	この授業での学びを振り返る			
学習上の留意点	・研究を進める中で本来の保育実践演習の目標を見失わない ・発表資料はパソコンで作成すること。（手書きは禁止） ・提出物の期限は必ず厳守すること。							
成績評価の方法	・試験 30% ・口頭発表 40% ・受講態度 30%				教科書	保育実践演習 〈自分を見つめ調べてみよう〉 （編著者）加藤洋子 鈴木将也		
					参考資料			

第 部 年 組 番

氏名